

令和5年度
公益財団法人神戸市民文化振興財団
事業概要

文化スポーツ局

目 次

I	神戸市民文化振興財団設立の趣旨	1
II	神戸市民文化振興財団の概要	
1	名 称	2
2	設 立 年 月 日	2
3	所 在 地	2
4	基 本 財 産	2
5	機 構	2
6	職 員 数	3
7	役 員 等	4
III	定 款	5
IV	令和4年度事業報告	
1	概 要	11
2	事業の実施状況	13
3	令和4年度決算	
(1)	事業別収支計算書	39
(2)	正味財産増減計算書	40
(3)	貸借対照表	41
(4)	財産目録	42
(5)	事業別収入明細書	43
(6)	事業別支出明細書	44
(7)	財務状況の推移	45
V	令和5年度事業計画	
1	概 要	46
2	事 業 計 画	49
3	経営改善の取り組み	67
4	令和5年度予算	
(1)	事業別収支予算書	70
(2)	予定正味財産増減計算書	71
(3)	予定貸借対照表	72
(4)	事業別予定収入明細書	73
(5)	事業別予定支出明細書	74
VI	令和4年度主要事業計画・実績比較表	75
VII	主要事業の推移(令和2年度～令和4年度)	76

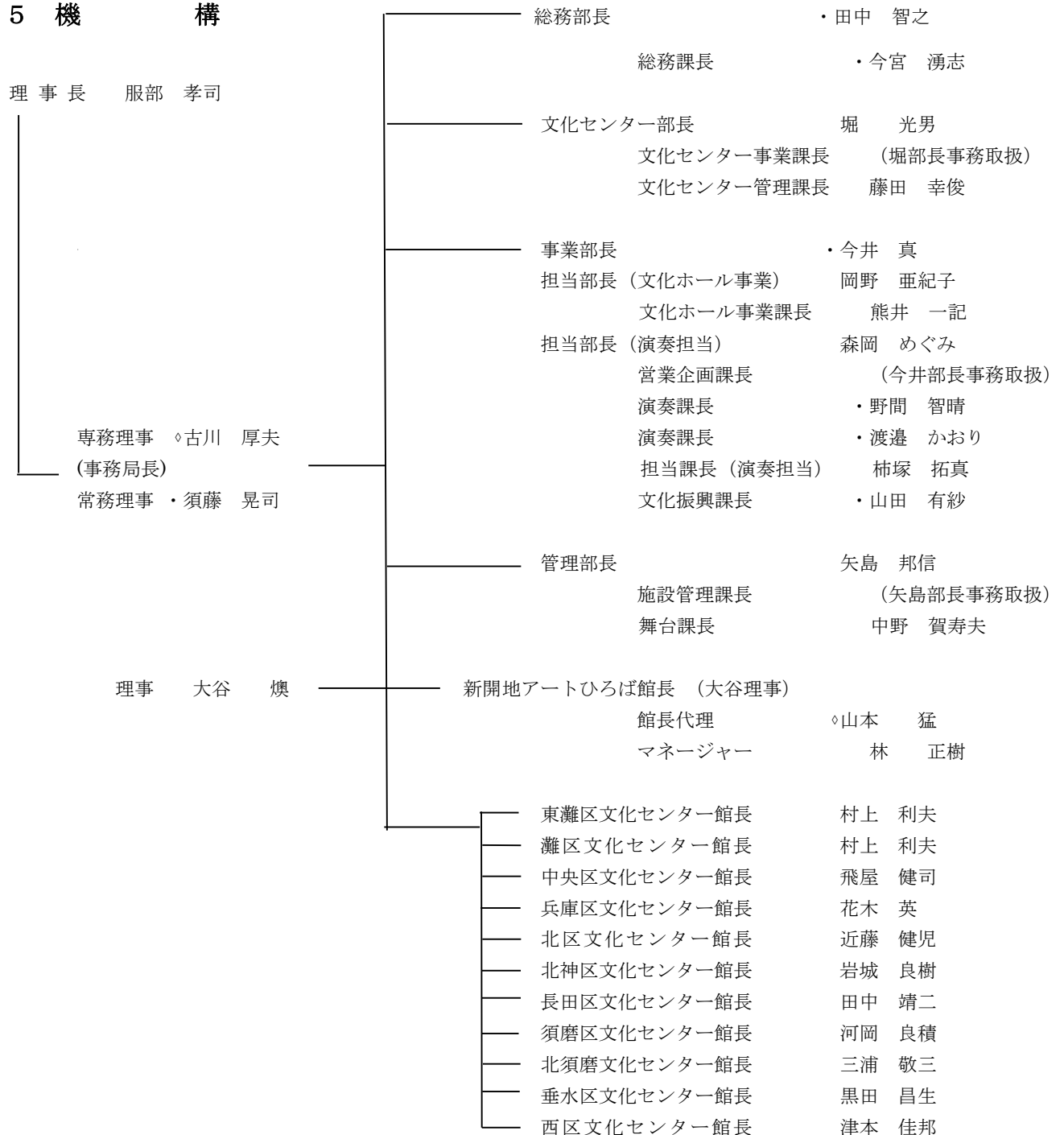
I 神戸市民文化振興財団設立の趣旨

心の豊かさを内包した生活の質向上を求めようとする市民の幅広い多様な文化的欲求に対応し、神戸文化を育て、自由な発想にもとづく文化活動の豊かな展開をすすめるため、神戸市民文化振興財団を設立したものである。

II 神戸市民文化振興財団の概要

- 1 名 称 公益財団法人 神戸市民文化振興財団
- 2 設立年月日 設立許可 昭和 57 年 10 月 1 日
 設立登記 昭和 57 年 10 月 1 日
 公益財団法人移行登記 平成 24 年 4 月 1 日
- 3 所在地 神戸市中央区楠町 4 丁目 2 番 2 号
- 4 基本財産 216,910 千円（神戸市出捐 100,000 千円 46.1%）

5 機 構



(注) ・は神戸市派遣職員、*は神戸市再任用職員、◇は神戸市嘱託職員

6 職員数

(令和5年7月1日現在)

所 属	理事長	専務理事 事務局長	常務理事	部 長 ・ 館 長	課 長	係 員	計
総 務 部	1	1	1 (1)	1 (1)	1 (1)	8	13 (3)
文化センター部				1	1	5	7 (0)
事 業 部				3 (1)	5 (3)	19 (1)	27 (5)
管 理 部				1	1	7	9
新 開 地 アートひろば				1	1	10	12
東 灘 区 文 化 セ ン タ ー						2	2
灘 区 文 化 セ ン タ ー				1		2	3
中 央 区 文 化 セ ン タ ー				1		2	3
兵 庫 区 文 化 セ ン タ ー				1		2	3
北 区 文 化 セ ン タ ー				1		1	2
北 神 区 文 化 セ ン タ ー				1		1	2
長 田 区 文 化 セ ン タ ー				1		2	3
須 磨 区 文 化 セ ン タ ー				1			1
北 須 磨 文 化 セ ン タ ー				1		3	4
垂 水 区 文 化 セ ン タ ー				1		2	3
西 区 文 化 セ ン タ ー				1		2	3
合 計	1 (0)	1 (0)	1 (1)	17 (2)	9 (4)	68 (1)	97 (8)

※ () は、人数のうち、神戸市派遣職員数。

7 役員等

(1) 評議員

(令和5年7月1日現在)

役職名	氏名	所属
評議員	井上和世	声楽家
評議員	加藤隆久	神戸芸術文化会議議長
評議員	宮道成彦	神戸市文化スポーツ局長
評議員	佐藤友美子	学校法人追手門学院理事
評議員	玉岡かおる	作家
評議員	檜木一秀	一般社団法人神戸経済同友会代表幹事
評議員	福田和代	日本放送協会神戸放送局長
評議員	矢崎和彦	株式会社フェリシモ代表取締役社長
評議員	小野愛子	一般社団法人神戸市婦人団体協議会会長
評議員	山本裕之	神戸親和大学名誉教授

(2) 理事・監事

役職名	氏名	所属
理事長	服部孝司	
専務理事	古川厚夫	
常務理事	須藤晃司	(神戸市文化スポーツ局 担当部長)
理事	伊藤紀美子	田嶋株式会社代表取締役社長
理事	大谷 燠	特定非営利活動法人DANCE BOX代表
理事	木田 聖子	株式会社チャイルドハート代表取締役社長
理事	道満雅彦	オリバーソース株式会社代表取締役社長
理事	西上三鶴	公益財団法人兵庫県芸術文化協会理事長
理事	藤野一夫	公立大学法人芸術文化観光専門職大学副学長
理事	宮本慶子	兵庫県音楽活動推進会議代表
理事	やなぎみわ	現代美術作家
監事	清水好央	税理士
監事	中嶋展也	弁護士

Ⅲ 定 款

公益財団法人神戸市民文化振興財団定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、公益財団法人神戸市民文化振興財団と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を兵庫県神戸市に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、神戸市民の文化活動の振興に資する事業を行い、もって個性豊かな魅力ある神戸文化の創造に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 市民の生活文化活動及び芸術文化活動の振興
- (2) 市民の国際文化交流の促進
- (3) 市民文化の振興に係る情報の収集及び提供
- (4) 文化施設の管理運営
- (5) 神戸市室内管弦楽団及び神戸市混声合唱団の運営
- (6) その他前条の目的を達成するために必要な事業

2 前項各号の事業は、兵庫県において行うものとする。

第3章 資産及び会計

(基本財産)

この法人の目的である事業を行うために不可欠な別表の財産は、この法人の基本財産とする。

2 基本財産は、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならないが、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を要する。

(事業年度)

第6条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第7条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度開始の日の前日までに、理事長(第23条に規定する理事長をいう。以下同じ。)が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第8条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 正味財産増減計算書
- (5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書
- (6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
- (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
- (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類(公益目的取得財産残額の算定)

第9条 理事長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則(平成19年内閣府令第68号)第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする

第4章 評議員

(評議員の定数)

第10条 この法人に評議員8名以上12名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第11条 評議員の選任及び解任は、評議員選定委員会(以下「委員会」という。)において行う。

- 2 委員会は、評議員1名、監事1名、事務局員1名、次項の定めに基づいて選任された外部委員2名の合計5名で構成する。
- 3 委員会の外部委員は、次のいずれにも該当しない者を理事会において選任する。
 - (1) この法人又は関連団体(主要な取引先及び重要な利害関係を有する団体を含む。以下同じ。)の業務を執行する者又は使用人
 - (2) 過去に前号に規定する者となったことがある者
 - (3) 第1号又は前号に該当する者の配偶者、3親等内の親族、使用人(過去に使用人となった者も含む。)
- 4 委員会に提出する評議員候補者は、理事会又は評議員会がそれぞれ推薦することができる。委員会の運営についての細則は、理事会において定める。
- 5 委員会に評議員候補者を推薦する場合には、次の事項のほか、当該候補者を評議員として適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。
 - (1) 当該候補者の経歴
 - (2) 当該候補者を候補者とした理由
 - (3) 当該候補者とこの法人及び役員等(理事、監事及び評議員)との関係
 - (4) 当該候補者の兼職状況
- 6 委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員の1名以上が出席し、かつ、外部委員の1名以上が賛成することを要する。
- 7 委員会は、前条で定める評議員の定数を欠くこととなるときに備えて、補欠の評議員を選任することができる。
- 8 前項の場合には、委員会は、次の事項も併せて決定しなければならない。
 - (1) 当該候補者が補欠の評議員である旨
 - (2) 当該候補者を1名又は2名以上の特定の評議員の補欠の評議員として選任するときは、その旨及び当該特定の評議員の氏名
 - (3) 同一の評議員(2名以上の評議員の補欠として選任した場合にあっては、当該2名以上の評議員)につき2名以上の補欠の評議員を選任するときは、当該補欠の評議員相互間の優先順位
- 9 第7項の補欠の評議員の選任に係る決議は、当該決議後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで、その効力を有する。
- 10 委員が委員会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることのできる委員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の委員会の決議があったものとみなす。

(評議員の任期)

第12条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

3 評議員は、第10条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第13条 評議員に対して、各年度の総額が100万円を越えない範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

2 評議員には、その職務を執行するために要する費用を弁償することができる。この場合の支給基準については、評議員会の決議を経て、別に定める。

第5章 評議員会

(構成)

第14条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

(権限)

第15条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任及び解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分又は除外の承認
- (8) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第16条 評議員会は、定時評議員会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第17条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(議長)

第18条 評議員会の議長は、評議員会において、出席した評議員の中から選出する。

(決議)

第19条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (3) 定款の変更
- (4) 基本財産の処分又は除外の承認
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第23条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(決議の省略)

第20条 理事が評議員会の目的である事項について提案した場合において、その提案について議決に加わることのできる評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

第21条 理事が評議員の全員に対して評議員会に報告すべき事項を通知した場合において、その事項を評議員会に報告することを要しないことについて、評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その事項の評議員会への報告があったものとみなす。

(議事録)

第22条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び出席した評議員のうち評議員会において選出された2名が、前項の議事録に記名押印する。

第6章 役員

(役員の設定)

第23条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 8名以上12名以内

(2) 監事 2名以内

2 理事のうち1名を理事長とする。

3 理事長以外の理事のうち、1名を専務理事及び2名以内を常務理事とすることができる。

4 第2項の理事長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(平成18年法律第48号。以下「一般法人法」という。)上の代表理事とし、前項の専務理事及び常務理事をもって一般法人法第197条において準用する一般法人法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第24条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長、専務理事及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(理事の職務及び権限)

第25条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、専務理事及び常務理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。

3 理事長、専務理事及び常務理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第26条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第27条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第21条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第28条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。

(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第29条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

2 理事及び監事に対して、その職務を執行するために要する費用を弁償することができる。この場合の支給基準については、評議員会の決議を経て、別に定める。

(顧問)

第30条 この法人に、顧問を置くことができる。

2 顧問は、次の職務を行う。

(1) 理事長の相談に応じること

(2) 理事会から諮問された事項について参考意見を述べること

3 顧問の選任及び解任は、理事会において決議する。

4 顧問は、無報酬とする。ただし、その職務を執行するために要する費用を弁償することができる。

第7章 理事会

(構成)

第31条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第32条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長、専務理事及び常務理事の選定及び解職

(招集)

第33条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第34条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般法人法第197条において準用する一般法人法第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

第35条 理事又は監事が理事及び監事の全員に対して理事会に報告すべき事項を通知した場合は、その事項を理事会に報告することを要しない。

2 前項の規定は、第25条第3項の規定による報告には適用しない。

(議事録)

第36条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第8章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第37条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

2 前項の規定は、この定款の第3条、第4条及び第11条についても適用する。

(解散)

第38条 この法人は、基本財産の滅失によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由によって解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第39条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合(その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。)には、評議員会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律(平成18年法律第49号。以下「認定法」という。)

第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第40条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、認定法第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第41条 この法人の公告は、電子公告により行う。

2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法による。

附 則

1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律(平成18年法律第50号。以下「整備法」

という。) 第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。

2 整備法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と公益法人の設立の登記を行ったときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

3 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。

石 阪 春 生
井 上 和 世
大 谷 幸 正
加 藤 隆 久
下 村 俊 子
妹 尾 美 智 子
津 村 正 男
長 崎 泰 裕
新 野 幸 次 郎
板 東 慧
湯 浅 叡 子

4 この法人の設立の登記の日に就任する理事は、次に掲げる者とする。

辻 村 博 邦
山 上 正 輝
榊 原 均
植 松 奎 二
栗 原 慶 子
藤 野 一 夫
難 波 裕 子
山 田 弘

5 この法人の最初の理事長は 辻村 博邦、専務理事は 山上 正輝、常務理事は 榊原均とする。

6 この法人の設立の登記の日に就任する監事は、次に掲げる者とする。

清 水 好 央
水 嶋 輝 雄

附 則

1 この定款は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

1 この定款は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

1 この定款は、令和4年10月14日から施行する。

別表 基本財産（第5条関係）

財産種別	物量等
投資有価証券等	216,910,000 円

IV 令和4年度事業報告

1 概要

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症による行動規制の影響も徐々に緩やかとなり、令和3年度にオンライン開催となった第10回神戸国際フルートコンクールについて、入賞者全員を招いた披露演奏会・優勝記念演奏会を開催した。

また、音楽劇「気づかいルーシー」を複数の他劇場と連携・協力のもとで実施した。

令和4年7月19日にオープンした中央区文化センターでは、多文化共生をテーマとした事業などオープニングイベントとして複数の事業を実施した。

また、KAVC プロデュース公演 手話裁判劇『テロ』は、劇場としての社会包摂の取り組みが、全国的にも注目を集めただけでなく、関西えんげき大賞優秀作品賞、最優秀作品賞、観客投票ベストワン賞のトリプル受賞を果たしたほか、神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団合同定期演奏会「プーランク讃(さん)」は、音楽誌で高い評価を得た。

文化・芸術の灯を消さないために試行錯誤を続けながら様々な事業に取り組んだ。

【主な事業内容】

(1) 第10回神戸国際フルートコンクール関連事業

1985年の創設以来、音楽を通じた国際交流や友好親善にも貢献する国際的なコンクールとして4年ごとに開催され、令和3年度には第10回大会を行った。同大会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響でオンライン開催となり、表彰式や披露演奏会を行えなかったため、入賞者全員を招いた演奏会を令和4年度に開催することとなった。来神の際には、神戸文化マザーポートクラブの主催で歓迎パーティーを開催し、入賞者の栄誉を称えた。コンクール自体はオンライン開催であったが、入賞者に神戸での演奏の機会を設けることで、コンクール開催の意義と成果を改めて市民とも共有するとともに、今回はじめて東京への出張公演も実施し、神戸からの発信の強化に努めた。さらに中学生を対象としたフルートクリニックやファミリーコンサートを実施し、次世代への普及啓発の取り組みも行った。

(2) 音楽劇「気づかいルーシー」

劇作家・演出家・俳優の松尾スズキによる絵本作品を原作に、新進劇作家として注目を集めるノゾエ征爾を脚本・演出に起用し、幅広い観客層に訴求できる音楽劇として開催した。映像分野でも活躍する若手実力派俳優の岸井ゆきの、独特の個性派俳優の栗原類、カンパニーデラシネラを率いてノンバーバル（言語を使わない）パフォーマンス等で高い評価を得る小野寺修二らが出演。ファンタジーの体裁を取りながら社会風刺やシニカルな笑いも取り入れ、大人も子どもも楽しめる良質の鑑賞機会を提供した。また、(一財)地域創造の助成金(連携プログラム)を獲得して外部資金の導入を図るとともに、複数の他劇場と連携・協力して取り組むことで、担当部門の企画制作力の向上にもつながる機会となった。

(3) 中央区文化センターオープニングイベント

令和4年7月19日にオープンした中央区文化センターのオープン記念イベントを複数開催。オープン当日には、多文化共生をテーマとした事業として、神戸市に在住のイタリア人ヴァイオリニストを主体にしたコンサートを開催。また8月10日には旧居留地地域との連携により、地元のブティック数店とファッションショーを実施した。

(4) KAVC プロデュース公演 手話裁判劇『テロ』

舞台芸術プログラムディレクター ウォーリー木下のもと、3年間継続したKAVC FLAG COMPANYの集大成として令和4年10月にKAVC プロデュース公演 手話裁判劇「テロ」を開催。演出にピンク地底人3号(ピンク地底人/ももちの世界)、出演に山口文子を招き、オーディションによっ

て選出された10名（ろう者、聴者、視覚障害者）とともに、フェルディナント・フォン・シーラッハ作『テロ』を手話裁判劇として上演を行った。

劇場としての社会包摂の取り組みは、全国的にも注目を集めメディアにも多数掲載されるとともに、関西えんげき大賞優秀作品賞、最優秀作品賞、観客投票ベストワン賞のトリプル受賞を果たした。

(5) 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団合同定期演奏会「プーランク^{さん}讃」

令和4年11月に、神戸市混声合唱団の佐藤正浩監督が指揮をとり、同氏がもっとも得意とする近代フランスの作曲家プーランクの二大宗教曲を披露した。

ソリストには兵庫県出身で、今や国際的に活躍する中村恵理（ソプラノ）を、オーケストラには関西の若手奏者を起用して公演に臨んだ。「音楽の友」誌から「ラテン語の歌詞が「空念仏」の歌唱になる日本の現状に一石を投じる意欲的な表現」（国土潤一）と高い評価を獲て、両楽団の周知・魅力発信につながった。

2 事業の実施状況

公益目的事業

(1) 文化ホール

① 文化ホール公演事業

ア 事業方針

- ・普及啓発及び人材育成型の事業を充実させながら、神戸文化ホールを拠点とした創造発信事業や開館 50 周年に向けた準備・展開
- ・優れた舞台芸術の鑑賞機会の強化
- ・財団のネットワークを活用した市民・芸術家・文化団体・他地域の文化施設などとの交流や連携の強化

イ 事業内容

新型コロナウイルス感染症について、基本的な感染拡大防止対策を徹底することで、事業の中止や感染拡大を発生させることなく、1年間を通して安定的に事業を遂行することができた。東西落語名人選と PRAY FROM KOBE は、コロナ禍以来久々の実施機会となった。

また、地元の芸術団体（貞松・浜田バレエ団）との共催で気鋭の振付家を起用した「くるみ割り人形」の新制作や、集客力のある 2.5 次元ミュージカルの招聘など、新しい取り組みを実現することにより、専門家からの高い評価や若い観客層による賑わいなど、文化ホールの事業展開に新たな方向性を作っていくきっかけを見つけることができた。

さらに、神戸文化ホール開館 50 周年記念事業を令和 5 年度から開始するための準備作業として、事業部横断型プロジェクトとし、ロゴ作成や記者発表などの事前広報を中心とした活動を開始した。また、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律（劇場法）の制定から 10 年ということを契機に、文化芸術活動の未来の担い手の育成を目的に、アートマネジメント講座を開講したほか、芸術文化観光専門職大学と連携したインターンの研修受入れを行った。

(ア) 創造発信事業

神戸の文化発信の基盤である地元芸術団体に創作・発表の機会を提供するとともに、市民の参加につながる事業を展開した。

(イ) 普及啓発・人材育成事業

子どもたちや働き盛りの若い世代、また障がいを持つ人たちが楽しくホールに集い、交流し、アートに親しむフェスティバル型の事業「チャレンジジャンボリー」を実施。令和 4 年度は「謎解きゲーム」を通じて、子育て世帯など日頃ホールに足を運ぶ機会が少ない、新たな観客が舞台芸術に触れる機会を生み出した。また、財団内の部署を横断した連携、関西を拠点に活躍する演劇関係者や舞踊関係者などとの人脈を構築することができ、今後の創造発信事業にも繋げていく有効なリソースを得ることができた。

(ウ) 鑑賞事業

質の高い公演や、民間ホールでは実現しにくい公演などを中心に、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を幅広く提供するという目的に沿って活動を行った。東京芸術劇場など国内の創造型劇場との連携による音楽劇「気づかいルーシー」、若い世代を中心に高い人気を誇る 2.5 次元ミュージカル、我が国を代表するアングラ劇団唐組の野外公演（湊川公園）など、当館の発信力の強化にもつながる公演を実施できた。

ウ 文化ホール公演事業実績

〈事業別〉

	事業数	公演数	入場者数
芸術創造・発信事業	4	5	3,960
教育普及・育成事業	7	9	2,014
鑑賞・学習事業	6	19 (1)	9,551
合 計	17	33 (1)	15,525

※括弧内は新型コロナウイルス感染症の影響により中止、延期となった事業・公演数（内数）

〈部門別〉

	事業数	公演数	入場者数	備 考
音 楽	7	9	4,252	クラシック3 合唱1 サンバ1 邦楽1 クリニック1
舞 踊	1	2	1,586	バレエ2
演 劇	5	17 (1)	7,217	演劇2 音楽劇1 2.5次元1 ワークショップ1
演 芸	2	3	1,749	落語2
その他	2	2	721	能1 舞台講座1
合 計	17	33 (1)	15,525	

※括弧内は新型コロナウイルス感染症の影響により中止、延期となった事業・公演数（内数）

文化ホール公演実績

	事業名	日付 (公演日)	会場 (施設名)	入場者数 (参加者数)
芸術創造・発信事業	和太鼓松村組 神戸公演2022	11月19日	大ホール	1,532
	貞松・浜田バレエ団「くるみ割り人形と秘密の花園」(新制作)	12月17・18日	中ホール	1,586
	PRAY FROM KOBE 2022 ～明日につなげるコンサート～	1月22日	大ホール	421
	第十四回神戸能	3月21日	中ホール	421
合計				3,960
	事業名	日付 (公演日)	会場 (施設名)	入場者数 (参加者数)
教育普及・育成事業	音楽劇「気づかいルーシー」ダンスワークショップ(親子向け)	6月25日	神戸アートビレッジセンター・リハ室	18
	第10回神戸国際フルートコンクール関連事業 「中高生のためのフルートクリニック～吹奏楽コンクール対策編」	6月19日・7月16日	練習室	21
	アートマネジメント講座 ホール見学「舞台のつくり方編 宙のソラミミ」	7月31日	中ホール	300
	神戸文化ホールチャレンジジャンボリー2022 「ああオルタンシア！ ナゾトキぐるぐるびゅんびゅん大劇場!!」	11月26日	中ホール 大倉山公園	182
	第10回神戸国際フルートコンクール関連事業 「コンサートに行こう！フルート×オーボエ×ピアノ」	1月25日	中ホール	487
	第10回神戸国際フルートコンクール関連事業 「第10回神戸国際フルートコンクール 優勝者記念演奏会」	2月23日	中ホール	297
	第10回神戸国際フルートコンクール関連事業 「第10回神戸国際フルートコンクール 披露演奏会」(神戸・東京)	2月23・24日	中ホール 浜離宮朝日ホール	709
合計				2,014
	事業名	日付 (公演日)	会場 (施設名)	入場者数 (参加者数)
鑑賞・学習事業	劇団唐組第68回公演「おちよこの傘持つメリー・ポピンズ」(荒天により1公演中止)	4月30日・5月1日	湊川公園 特設紅テント	432
	音楽劇「気づかいルーシー」	8月17日	中ホール	450
	第46回東西落語名人選	9月10日	中ホール	1,201
	ライブ・スペクタクル「NARUTO-ナルト-」～忍界大戦、開戦～	10月1～10日	中ホール	6,135
	親子で楽しむラテンのリズム ズーラシアンプラス「音楽の絵本アミーゴ！」	10月22日	中ホール	785
	桂米朝一門会	2月26日	中ホール	548
合計				9,551

② 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

ア 事業方針

- ・神戸文化ホールにおける質の高い演奏の提供
- ・演奏水準のさらなる向上
- ・広報強化、アウトリーチの実施による両楽団の周知
- ・自主公演への集客強化と新たな依頼公演の獲得

イ 事業内容

(ア) 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

神戸文化ホールでの定期演奏会・合同演奏会において、全国の自治体で唯一、ホール専属の神戸市室内管弦楽団と神戸市混声合唱団を保有・運営している強みを活かして、演奏される機会が少ない大曲に挑戦するなど、創造力あふれる企画発信を行った。

また、市民が気軽に鑑賞できる各区文化センターでの演奏会など、地域における芸術文化の振興や社会包摂事業の充実をはかった。特に、「こどもコンサート」では、特別支援学校へ事前の聞き取りなどにより、バリアフリーの取組について入念に準備を行った。

(イ) 楽団の周知・魅力発信の取り組み

SNS (Twitter、Facebook、Instagram) や動画配信により、積極的かつ効果的な広報に取り組み、着実にフォロワーを増やした。

神戸市室内管弦楽団は6月に大阪公演、令和5年2月に東京公演を行い、補助金助成団体、識者、コンサート制作者等を招いて実際の演奏を聴いてもらい、資料も送付するなど、周知に加えて、依頼公演獲得のための営業活動も行った。神戸市混声合唱団は兵庫県芸術文化センターの12月31日のジルベスターコンサートに出演依頼をいただき、合唱団の実力を市外でも聞いてもらい知名度アップにつなげた。

加えて、次代を担う子ども達に対する鑑賞機会の提供のため新機軸の「こどもコンサート」のほか、小学生を神戸文化ホールに招待する「インリーチ事業」と、6年間で市内全小学校へ出張演奏を行う「アウトリーチ事業（4年目）」に、地元の音楽家とも連携して取り組んだ。世界的奏者が登場した夏の「セレクション」企画では、青少年と奏者の質疑コーナーを公演後に設けて、交流をはかった。

また、神戸市室内管弦楽団、神戸市混声合唱団の定期演奏会を1年間のセットで聴くことができる「定期会員制度」の募集を令和4年1月から新たに開始し、顧客づくりに取り組んだ。

【令和4年度公演数・入場者数】

	自主公演	依頼公演	合計
公演数	23	102	125
入場者数	7,642	31,478	39,120

ウ 演奏事業実績

【自主公演】

(単位：人)

事	業	名	開	催	時	期	開	催	場	所	入	場	者	数
神戸市室内管弦楽団	定期演奏会 (第153～156回)		4/23				神戸文化ホール (中)				340			
			7/9				神戸文化ホール (大)				463			
			10/1				神戸文化ホール (大)				691			
			2/11				神戸文化ホール (大)				492			
		大阪特別演奏会		6/18			住友生命いずみホール				364			
		こどもコンサートコンサート合奏ワークショップ		6/26・7/3・7/17			神戸文化ホール (練習室1)				36			
		セレクションⅠ		8/27			うはらホール				403			
		東京特別演奏会		2/13			紀尾井ホール				504			
	セレクションⅡ		3/18			ピフレホール				184				
神戸市混声合唱団	合唱コンクール課題曲コンサート		4/29				文化ホール (中)				430			
	わがまちコンサート・ピフレ		5/27				ピフレホール				272			
			12/16				ピフレホール				333			
	定期演奏会		9/3				神戸文化ホール (大)				416			
			3/11				神戸新聞 松方ホール				412			
	あなたに贈るコンサート		10/16				ありまホール				143			
		1/22				ありまホール				313				
合同	特別支援学校アウトリーチ		6/28				いぶき明生支援学校				60			
			7/5				青陽須磨支援学校				100			
	こどもコンサート		7/23				神戸文化ホール (大)				484			
	合同定期演奏会		11/13				文化ホール (大)				709			
	オペラ泣いた赤おに (一般公演)		2/4				神戸文化ホール (大)				493			
演奏事業合計											7,642			

【依頼公演】

	公演数	入場者数
神戸市室内管弦楽団	12	3,092
神戸市混声合唱団	42	13,938
合同	48	14,448
合計		31,478

③ 文化振興事業

ア 事業方針

- ・芸術文化による神戸ブランドの創造発信
- ・地元アーティスト・団体の芸術文化活動をサポートし、神戸文化の創造・発展に努める
- ・市民のくらしに芸術文化を根づかせる取り組み
- ・次世代の芸術文化の担い手や支え手の育成

イ 事業内容

(ア) 芸術文化による神戸ブランドの創造発信

神戸に根付いたジャズ文化を市内外へ発信するため、観光・商業・報道等さまざまなジャンルの民間企業・個人・官公庁等と連携し、「ジャズの街神戸」推進協議会の活動として、「神戸ユースジャズオーケストラ」の運営をはじめ、『神戸ジャズの日』記念イベントや、公式ウェブサイト「JAZZ TOWN KOBE」等を通じ、さまざまな神戸のジャズに関する情報を集約し、発信を行った。

(イ) 情報収集・提供の充実

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、活動の場が減っている地元アーティスト等文化芸術関係者を対象とし、ウェブサイトから気軽に相談できる「こうべ文化芸術相談窓口」を令和3年11月に設置。文化芸術活動に関する相談（資金調達、活動拠点、広報等）に対し、専門家等と連携し情報提供や助言、座談会等を実施するとともに、実現可能性の高い相談については関係部署・団体へ紹介することで、事業の実現につなげた。相談を経て、文化センターでリモックのキッズワークショップの実現につながった例もあった。

利用者へのアンケート結果でも、9割以上の方が本窓口のアドバイスを「今後の活動の参考になった」と回答されており、自由意見でも「早くて丁寧な対応だった」「紹介した広報ツールにより来場者の獲得につながった」「補助金を申請し採択された」など、良い評価をいただいている。

これらの取組を通じて、地域の文化芸術活動にかかる情報や必要な知見、ネットワークを蓄積し、神戸の文化芸術振興・発展につなげていくことを目指す。

<令和4年度実績>

- ・相談件数 79件
- ・相談受信件数 230件（1件あたり平均2.9回のやり取り）
- ・相談内容別内訳

補助金・助成金情報	広報・後援等	活動拠点	事業計画	資金計画
40	21	19	18	4
教室・講座	パートナー探し	その他	合計	
17	7	12	138	

※1件の相談につき相談内容が複数あるため、相談件数とは一致しない。

(ウ) 市民参加型芸術文化事業の充実

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「神戸市吹奏楽祭」や「モーブガレット交歓会」、「シャンソン・ポピュラーコンクール」等の事業を行った。

(エ) 地元芸術文化団体との協力関係の強化及び若手芸術家の発掘・支援

神戸文化の基盤となっている地元芸術文化団体の活動を支援するとともに、神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団が行っている市内小学校へのアウトリーチ事業を地元芸術団体と連携して行う等協力関係の強化を図った。また、「神戸市吹奏楽祭」、「JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL」等を通じて今後の神戸文化の担い手となる若手人材の育成を支援した。

(オ) 芸術文化を担う人材の育成

アートマネジメント業界を志望する学生や文化芸術団体（劇場・音楽堂、実演団体）に所属するスタッフ等を対象としたアートマネジメント講座の実施や、大学等と連携したインターンシップの受け入れ、アートマネジメントの「担い手」養成を図った。

<令和4年度 アートマネジメント講座>

アートマネジメントの「担い手」養成を目的として、アートマネジメント業界を志望する学生や文化芸術団体（劇場・音楽堂、実演団体）に所属するスタッフ等を対象に、以下の3つの事業を実施。

- ・インターンシップ：公演現場を体験していただくインターンシップ事業
- ・舞台機構講座：舞台の構造を楽しく知る講座
- ・キャリア・プランニング講座：キャリアプランを考えるレクチャー講座

令和4年度 アートマネジメント講座実績

事業名	事業数・公演数	参加者数
インターンシップ	4事業・4公演	23名
舞台機構講座	1事業・1公演	7名
キャリア・プランニング講座	3事業・3公演	111名
計	9事業・9公演	141名

※キャリア・プランニング講座参加者数には、財団職員含む

ウ 文化振興事業実績

(単位：人)

事業名	開催時期	開催場所	入場者数	
「ジャズの街神戸」発信事業	4月～3月	SMBC神戸営業部前 他	600	
神戸市吹奏楽祭	4/29, 11/3	神戸文化ホール	3,950	
全日本シャンソン・ポピュレールコンクール	九州大会5/7 中部大会5/29 神戸大会6/5 東北大会6/8 東京大会6/10	全国5か所	691	
	セミファイナル8/6	うはらホール		
	ファイナル9/23	神戸文化ホール		
YAMANO BIG BAND JAZZ CONTEST西日本予選(中止)	6/6	神戸文化ホール	—	
神戸三曲協会演奏会等	6/12, 3/19	神戸文化ホール 他	560	
室内楽名曲シリーズ	6/26, 10/30	うはらホール 神戸文化ホール	784	
神戸ジャズ道場(中止)	8/5～8/7	神戸セミナーハウス	—	
JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL	8/19～8/21	神戸文化ホール	2,632	
子どものためのコンサート	9/11	舞子ピラあじさいホール	126	
神戸フィルハーモニック定期演奏会等	6/26, 11/6, 1/14	神戸文化ホール	1,633	
神戸ジャズストリート	10/8, 9	北野界限9会場	2,200	
母親コーラス「モーブガレット交歓会」等	12/8, 9	神戸文化ホール	659	
KOBE NEWAGE JAZZ CONCERT 2023 (ユースジャズオーケストラ出演)	3/13	ジーバックホール	101	
演劇 舞踊	神劇まわり舞台	4月～3月	市内各所	846
	こうべ全国洋舞コンクール	5/1～5/5	神戸文化ホール	1,924
他	こども本の森開館1周年記念イベント (謎解きと楽器作り体験)	3/30	こども本の森前広場	400
文化振興事業合計			17,106	

④ 情報発信

ア 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団の情報発信強化

神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団について、両団それぞれのSNSや動画配信に加え、オンラインやリアルでの記者懇談会を積極的に実施した。継続して続けているマスコミとの関係強化による公演情報の記事化をはかり、戦略的広報に努めた。加えて、音楽雑誌・新聞等への計画的な広告出稿、他演奏会場でのチラシ配布をたゆまず行い、市内、市外での周知に努めた。

イ インターネットによる情報発信

当財団が主催する主要事業などを幅広く紹介するとともに、管理している各施設の空室情報や講座の受講申込み、各種情報誌の内容をホームページに掲載した。

また、Twitter や Facebook、Instagram など多様な SNS を活用したリアルタイムの情報発信に積極的に取り組むとともに、動画共有サイト等による事業広報を展開した。

財団ホームページ訪問者数	2,791,529 人（月平均 232,627 人）
Facebook フォロワー数	7,770 人
Twitter フォロワー数	7,749 人
Instagram フォロワー数	1,984 人

※SNS のフォロワー数は文化センター部及び事業部、KAVC の各の合計。

ウ 「KOBE C情報」の発信

「KOBE C情報」を活用し、神戸及びその近郊における文化芸術イベント等をPRしたい事業実施者から情報を直接集め、ウェブサイトや複数のSNSで広く発信することで、文化芸術に関する情報のプラットフォーム形成を図った。

エ 文化ホール公演事業の情報発信強化

神戸文化ホールの情報発信機能として、情報誌「ほーるめいと」を発行（18,000部／隔月）した。またSNSを活用したメールマガジン、Facebook、Twitterでの発信や、ホームページの内容の充実などに努めた。

	回数	発行部数	備 考
ほーるめいと	6	18,000部／隔月	神戸文化ホールで開催される自主事業や公演情報をまとめた広報誌。令和3年度に内容を一新し、デザインを整え、印象に残る誌面作りを心掛けるとともに、インタビュー記事を拡充し、訴求力を高めた。 会員を始め市内の文化施設や主要駅図書館などへの発送及び設置

オ 広報PRの強化

財団事業を総合的かつ横断的にプロモーションし、公演の入場者数や入場料収入の増加に努めた。

また、登用した専門人材の全国的なネットワークを活用し、マスコミへ各種資料提供を行うなど情報発信に積極的に取り組んだ。

⑤ 神戸文化ホール貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供
- ・施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営
- ・文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援
- ・基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

イ 事業内容

(ア) 弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供

年中無休、早朝仕込み・深夜撤収など、ニーズに応じた弾力的な運用を継続実施した。また、舞台スタッフによる専門性の高い舞台運営、ホスピタリティ溢れるホール運営で利用者のサポートを引き続き実施した。

(イ) 施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営

利用後のアンケート等でいただいたご意見・ご要望をもとに、ホール運営全般の改善に努めた。

(ウ) 文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援、広域からのホール利用の促進

抽選会における優先利用制度や練習利用の割引料金制度による地元芸術団体、若手芸術家の活動支援を継続して実施した。また、メールを用いた事前受付制の抽選会を継続して実施することで、コロナ感染対策としての対面接触を減らすだけでなく、遠方の利用希望者のホール利用のアクセシビリティの向上に努めた。

(エ) 基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

設備全般にわたる日常的な点検の実施、不良箇所への速やかな対処に努め、神戸市の公共基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営を行なった。とくに空調機に抗ウイルスフィルターを設置、舞台備品や楽屋その他の施設にも抗菌コーティングを行い、コロナ禍において利用者だけでなく主催者にも安全・安心な環境の継続的な提供を図った。

また、キャッシュレス決済（電子マネー）で利用料金やチケット代金の支払いが可能となる電子精算機器の整備や、ホールでのインターネット配信等のため光回線利用設備を整備、非接触で入場を可能とするスマートゲートの導入により利用者にとってより使いやすくなるサービスと設備を引き続き提供した。

ウ 貸館・管理事業実績

		大ホール	中ホール	練習場	合計
利用件数(件)		216	255	3,134	3,605
入場者数(人)		170,374	84,428	41,330	296,132
利用率 (%)	踏入率	68.6	79.5	95.5	
	実利用率	58.1	70.6	72.8	

① 神戸文化ホール利用状況表（自主事業を含む） ※収益事業を含む

令和4年4月1日～令和5年3月31日

		大ホール		中ホール		合計	
部門	内 訳	利用件数(件)	入場者数(人)	利用件数(件)	入場者数(人)	利用件数(件)	入場者数(人)
音楽	クラシック	87	47,363	57	17,481	144	64,844
	ポピュラー	17	16,855	13	6,928	30	23,783
	邦楽	5	3,255	9	3,137	14	6,392
	小 計	109	67,473	79	27,546	188	95,019
舞踊	舞踊等	31	14,339	67	16,774	98	31,113
演劇	演劇	5	7,797	38	17,679	43	25,476
	音楽劇	7	2,809	6	1,979	13	4,788
	小 計	12	10,606	44	19,658	56	30,264
演芸等	演芸・映画	14	22,554	20	7,641	34	30,195
大会行事 等	大会・式典	9	5,649	8	2,550	17	8,199
	講演会・講習会	41	49,753	30	8,716	71	58,469
	小 計	50	55,402	38	11,266	88	66,668
その他		0	0	7	1,543	7	1,543
合 計		216	170,374	255	84,428	471	254,802
利用率(%)		68.6		79.5		74.1	
前年度利用率(%)		61.5		69.2		65.4	

注) ・利用率は、「利用日数/利用可能日数」(大ホール 205/299中ホール 241/303)

②神戸文化ホール練習場利用状況表 令和4年4月1日～令和5年3月31日

		合計
利用件数(件)		3,134
利用者数(人)		41,330
利用率(%)		95.5
前年度利用率(%)		71.1

(2) 神戸アートビレッジセンター (KAVC)

① 神戸アートビレッジセンター (KAVC) 事業

ア 事業方針

- ・先進的な芸術文化の事業の実施
- ・アートの世界への入り口となるワークショップや講座等の実施
- ・市内外の文化施設や教育機関等との交流及び連携
- ・事業を通じたまちの賑わいづくり及び活性化への寄与
- ・実施事業の評価と改善に向けた評価軸の策定

※神戸アートビレッジセンターは令和4年10月11日～令和5年4月27日までの期間、施設の機能見直しに伴うリニューアルのため休館した。

イ 事業内容

(ア) 演劇・舞踊事業

KAVC 舞台芸術プログラムディレクター ウォーリー木下のもと、プロデュース公演 手話裁判劇『テロ』を開催。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて延期となった KAVC FLAG COMPANY の3劇団の公演を開催した。

高校生を対象にした Go! Go! High School Project は過去2年間オンライン公演であったが、令和4年度は舞台上での公演を開催。その他、市田京美ダンスワークショップ、PM 飛ぶ教室など共催による公演・ワークショップ等を実施した。

また、昨年度で終了した地域創造助成事業・ダン活「新開地カブキモノ大興行」の継続的活動の受入として、新開地夏祭りに併せて商店街での路上パフォーマンスを行った。

(イ) 美術事業

若手アーティストの支援企画として推薦公募による展覧会「愛着再考」を開催。展覧会企画のメンターとして、京都精華大学の伊藤まゆみ氏を迎え、出品作家は関西の芸術系大学の講師から推薦を受けた8組のアーティストから3組を選考、KAVC ギャラリーとオープンスペース1roomでの展覧会を実施した。その他にも、毎年恒例の「でっかい窓に絵を描こう！」の他、神戸市の委託業務により、壁画制作体験「発見！このまちどんなまち？」を実施。39名の子ども達が描いた原画をもとにアーティストの川田知志がミューラルアートを制作し、ポートピア新開地正面入口上に完成した。

ウ 神戸アートビレッジセンター事業実績

〈事業別〉

	事業数	入場者数 (人)
演劇・舞踊事業	14	3,171
美術事業	5	2,218
音楽・その他事業	3	2,116
合計	22	7,505

公演実績

令和4年4月1日～令和5年3月31日

	事業名	日付	会場(施設名)	入場者数 (参加者数)
演劇・ 舞踊事業	市田京美ダンスワークショップ	4月29日(金)～5月1日(日)	リハーサル室	61
	PM/飛ぶ教室・第29回公演 『港でカモメがやすんでる日はね、千帆ちゃん～ツヤコばあちゃんのこと』	6月3(金)～5(日)	KAVCシアター	309
	KFC 劇団不労社「BLOW&JOB」	6月3日(金)～5日(日)	KAVCホール	475
	劇団不労社アフタートーク	6月5(日)	KAVCホール	100
	KFC かのうとおっさん「恐怖!ときめきの館」	7月8日(金)～10日(日)	KAVCシアター	369
	かのうとおっさんアフタートーク	7月10日(日)	KAVCシアター	76
	KFC StarMachineProject「定位」	9月1日(木)～3日(土)	KAVCシアター	157
	StarMachineProjectアフタートーク	9月1日(木)	KAVCシアター	30
	KAVCプロデュース公演「テロ」	10月5日(水)～10日(月)	KAVCホール	1,122
	Go!Go! High school project体験ワークショップ	5月29日(日)	リハーサル室2	16
	Go!Go! High school projectワークショップ(13日間×16名)	7月～8月	リハーサル室	208
	Go!Go! High school project 公演「わが町」	8月21日(日)	KAVCホール	126
	第五回 新開地カブキモノ大興行 ワークショップ(二日間)	7月16日(土)、17(日)	シアター	22
	第五回 新開地カブキモノ大興行 ～踊れ!夏まつり編～	8月7日(日)	新開地周辺	100
演劇・舞踊事業合計				3,171
	事業名	日付	会場(施設名)	入場者数 (参加者数)
美術事業	若手芸術家支援企画「愛着再考」	6月18日(日)～7月10日(日)	ギャラリー	2,116
	「愛着再考」関連企画	7月3日(日)	1room	20
	でっかい窓に絵を描こう!	7月24日(日)	1room	26
	でっかい窓の絵を消そう!	8月27日(土)	1room	26
	はじまりのみかたvol.10 壁画制作体験「発見!このまちどんなまち?(神戸・新開地編)」	9月23日(祝・金)	シアター	30
美術事業合計				2,218
	事業名	日付	会場(施設名)	入場者数 (参加者数)
その他事業	新開地ジャズヴォーカルクイーンコンテスト	5月7日(土)	KAVCホール	179
	新開地音楽祭	5月8日(日)	KAVCホール	690
	土曜マルシェ(4月～9月)	毎月第2土曜日	1room	1,247
音楽その他事業 合計				2,116
KAVC自主事業合計				7,505

② 情報発信

情報発信機能を充実、強化するため、チラシやホームページ、SNSなど幅広い広報PRに努めた。また、手話裁判劇『テロ』では、舞台芸術ニュースサイト「ステージナタリー」への取材記事の発注など新たな広報手段の活用を進めた。

③ 神戸アートビレッジセンター（KAVC）貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・ 条例・規則に基づいた公平・公正な貸館サービスの提供
- ・ 利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応
- ・ 利便性の向上
- ・ 市民の芸術文化活動の促進・誘致
- ・ with コロナにおける「新しい生活様式」を考慮した貸館推進

イ 事業内容

(ア) 条例・規則に基づいた公平・公正な貸館サービスの提供

条例規則を基に作成した「神戸アートビレッジセンター管理規程」に則り、利用者に対して公平・公正なサービスの提供を行った。管理規定では条例規則で定められていない箇所を明確にし、恒常的に安定したサービスの提供を引き続き実施した。

(イ) 利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応

全職員が基本的な貸館対応を行うことで、利用者を待たせない体制を整えた。また、施設の使用用途を「練習施設」「発表施設」に分類、それぞれ専門のスタッフが対応にあたることで、利用者にわかりやすい利用環境を提供した。同様に、全国的に珍しいシルクスクリーン工房においても、初心者からアーティストまで幅広い利用者に対応した。

(ウ) 利便性の向上

アンケート調査を元に利用者ニーズを把握することで、貸館の利便性向上を常に意識した運営を行った。新規貸館予約システムの導入や SNS を活用した広報、積極的な情報公開を行い、利用者が快適に使うことのできる貸館運営を行った。

(エ) 市民の芸術文化活動の促進・誘致

地域にゆかりのあるアーティストとの連携や、市民の文化・教育普及につながる催しに「協力・提携・共催」事業での連携を実施し、市民の芸術文化活動の促進につなげた。

(オ) with コロナにおける「新しい生活様式」を考慮した貸館推進

長期化する新型コロナウイルス感染症対策において、感染防止対策支援を充実させ、安心して利用できる貸館環境を推進した。

ウ 神戸アートビレッジセンター利用状況表（自主事業含む）

令和4年4月1日～令和5年3月31日

施設名	利用者数	踏入件数 (利用件数)	踏入率 (実利用率)	前年度 踏入(実利用率)
多機能ホール(KAVCホール)	17,991	105 (288)	65.1% (59.5%)	60.1% (54.7%)
視聴覚ホール(KAVCシアター)	3,297	51 (137)	31.5% (28.2%)	75.8% (73.9%)
リハーサル室(1・2)	10,603	270 (521)	81.5% (52.4%)	81.1% (50.2%)
ギャラリー	7,769	129 (387)	77.7% (77.7%)	77.9% (77.9%)
アトリエ	139	44 (44)	26.5% (8.8%)	21.6% (7.2%)
スタジオ(1・2・3)	1,992	186 (334)	37.8% (22.6%)	42.6% (25.7%)
会議室(1・2)	4,640	185 (412)	55.7% (41.4%)	53.1% (38.9%)
貸館合計	46,431	970 (2123)	53.6% (39.1%)	57.5% (42.8%)
1room入場者数	32,502			
総入場者数	78,933			

開館日数	166
------	-----

※令和4年10月11日～令和5年4月27日までリニューアルのため休館

(3) 各区文化センター

① 文化センター講座・地域連携事業

ア 事業方針

- ・「地域住民とともに歩む文化センター」として市民の文化活動ニーズに対応した、講座事業や地域連携事業の実施・作品展示会・発表会の実施
- ・「多文化共生」をテーマにした事業実施
- ・財団が有する文化事業運営ノウハウや、文化団体との人的ネットワークを活用

※令和4年6月に葺合文化センター・生田文化会館については閉館。令和4年7月より中央区文化センター開館。

イ 事業内容

(ア) 講座事業

入門者・初心者対象の文化・教養・スポーツの講座を、初心者でも取り組みやすくするために、半年間の単位であった期間を令和2年度より春季・夏季・秋季・冬季の3ヶ月単位に変更した。また、一部センターでのオンライン講座を継続して実施した。令和2年秋時点で9,000名程だった受講生数は、令和4年度は、一季平均12,000名強に増加している。

(イ) 地域連携事業（地域住民参加型のイベント及び地域文化活性化事業）

各センターの特色を生かした住民参加型の事業に取り組むとともに、「農村歌舞伎」や「須磨琴」など地域の伝統文化や歴史を生かした事業を実施した。令和2年度より指定管理となった旧勤労市民センターを中心に、市の文化財課や博物館との連携事業を多数展開した実績を踏まえて、文化振興に関わる他施設との連携を強化した。

また地域文化活性化事業として、従来の伝統文化や歴史を生かした事業に加え、神戸にゆかりのある音楽家や落語家を迎えた公演等、色彩豊かな事業展開を行った。

(ウ) 作品展示会・発表会

文化センターのギャラリーやロビー、ホールにおいて、講座受講生をはじめとする市民の絵画、陶芸、写真などの作品展示会や舞踊、音楽等の発表会を実施した。

(エ) 「多文化共生」をテーマにした事業実施

神戸市が中央区文化センターの事業目標として掲げている「多文化共生」に即し、中央区文化センターを中心に外国人アーティストによる事業を実施した。神戸市在住イタリア人ヴァイオリニストを中心とした海外アーティストのオープン記念イベントを皮切りに、ミニコンサートを中央区文化センターにおいて開催した。

ウ 講座事業実績

令和4年4月1日～令和5年3月31日

		東灘区 文化センター	灘区 文化センター	葺合 文化センター	生田 文化会館	中央区 文化センター	兵庫区 文化センター	北区 文化センター	北神区 文化センター	長田区 文化センター	須磨区 文化センター	北須磨 文化センター	垂水区 文化センター	西区 文化センター	計
定例講座	講座数	232	399	-	-	-	315	347	434	393	255	392	378	588	3,733
	定員(人)	3,943	7,059	-	-	-	6,494	6,729	5,630	8,341	3,266	7,134	6,713	10,072	65,381
	応募者数(人)	3,478	5,858	-	-	-	4,808	3,694	4,876	6,129	2,492	5,185	6,097	7,979	50,596
	応募率(%)	88.2%	83.0%	-	-	-	74.0%	54.9%	86.6%	73.5%	76.3%	72.7%	90.8%	79.2%	77.4%
	受講者数(人)	3,244	5,457	-	-	-	4,464	3,493	4,604	5,715	2,396	4,830	5,636	7,305	47,144
	受講率(%)	82.3%	77.3%	-	-	-	68.7%	51.9%	81.8%	68.5%	73.4%	67.7%	84.0%	72.5%	72.1%
随時講座	講座数	10	1	-	-	6	14	22	29	9	8	38	7	16	160
	定員(人)	199	12	-	-	315	380	370	444	80	121	1,546	132	219	3,818
	受講者数(人)	148	11	-	-	242	291	205	268	42	79	936	113	189	2,524
	受講率(%)	74.4%	91.7%	-	-	76.8%	76.6%	55.4%	60.4%	52.5%	65.3%	60.5%	85.6%	86.3%	66.1%
定例講座&随時講座 受講者数(人)		3,392	5,468	-	-	242	4,755	3,698	4,872	5,757	2,475	5,766	5,749	7,494	49,668
定例講座&随時講座 受講率(%)		81.9%	77.3%	-	-	77.1%	69.2%	52.1%	80.2%	68.4%	73.1%	66.4%	84.0%	72.8%	71.8%
前年度の受講率(%)		77.9%	78.5%	-	38.0%	-	70.3%	54.4%	77.2%	66.9%	67.1%	58.0%	81.6%	72.4%	70.1%

(事業実績)※収益事業を含む

令和4年4月1日～令和5年3月31日

		東灘区 文化セン ター	灘区 文化セン ター	葺合文化 センター	生田文化 会館	中央区 文化セン ター	兵庫区 文化セン ター	北区 文化セン ター	北神区 文化セン ター	長田区 文化セン ター	須磨区 文化セン ター	北須磨 文化セン ター	垂水区 文化セン ター	西区 文化セン ター	合同イベント	合計
演奏会	回数	3	0	0	1	4	2	3	12	5	4	5	2	3	1	45
	来場者数	945	0	0	84	610	128	985	2,610	722	676	929	464	769	1,172	10,094
演劇・ 伝統芸 能	回数	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	6
	来場者数	424	0	0	0	0	0	81	0	0	0	0	0	394	0	899
発表会	回数	3	3	0	4	2	0	4	5	2	0	3	1	3	0	30
	来場者数	511	650	0	459	172	0	863	1,230	443	0	220	855	1,411	0	6,814
その他	回数	6	3	0	0	5	3	8	11	16	5	6	2	9	0	74
	来場者数	3,911	335	0	0	1,305	129	529	1,546	1,188	662	43	77	3,237	0	12,962
合計	回数	14	6	0	5	11	5	16	28	23	9	14	5	18	1	155
	来場者数	5,791	985	0	543	2,087	257	2,458	5,386	2,353	1,338	1,192	1,396	5,811	1,172	30,769

② 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

ア 事業方針

- ・各区文化センターにおける質の高い演奏の提供

イ 事業内容

各区文化センターにおいて、神戸市室内管弦楽団による、安価な料金で休憩なし 60 分以内の企画を新たに実施した。ピアニストによる弾き振りなど定期演奏会で取り上げないような作品、出演者の組み合わせを積極的に試みたほか、公演後には出演者とのトーク等交流プログラムを実施し、市民に新しい音楽体験を届ける機会の創出に努めた。

ウ 令和4年度神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団実績（文化センター関連）

令和4年4月1日～令和5年3月31日

事業名		開催日	公演数	開催場所	入場者数（人）
室内	セレクションⅠ	8/27	1	東灘区文化センター うはらホール	403
	セレクションⅡ	3/18	2	長田区文化センター別館 ピフレホール	1回目：123 2回目：61
混声	わがまちコンサート ピフレ	5/27・12/16	2	長田区文化センター別館 ピフレホール	1回目：272 2回目：333
	あなたに贈るコンサート	10/16・1/22	2	北神区文化センター ありまホール 東灘区文化センター うはらホール	1回目：143 2回目：313
合計					1,648

③ 文化振興事業

ア 事業方針

- ・市民のくらしに芸術文化を根づかせる取り組み

イ 事業内容

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「シャンソン・ポピュレールコンクール（神戸大会）」等を実施した。

ウ 令和4年度文化振興事業実績（文化センター関連）

令和4年4月1日～令和5年3月31日

	事業名	開催時期	開催場所	入場者数（人）
1	全日本シャンソン・ポピュレールコンクール（神戸大会）	6/4	長田区文化センター別館 ピフレホール	173
2	全日本シャンソン・ポピュレールコンクール（セミファイナル）	8/6	長田区文化センター別館 ピフレホール	108
3	神戸フォーレ協会 ボンジュール・フランス（室内楽名曲シリーズ）	6/26	東灘区文化センター うはらホール	225
4	神戸三曲協会独奏会	3/19	東灘区文化センター うはらホール	180
合計				686

④ 情報発信

文化センターの情報発信機能の充実を図るため、チラシやホームページでの情報提供のほか、ポスティング、文化センターだよりの発行や SNS の積極的な活用に努めた。

⑤ 文化センター貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・料金割引制度や利用団体への広報・相談サポートなどの向上と積極的な広報活動による利用促進
- ・長年培ったノウハウの活用による、安全・安心で快適な利用環境の提供
- ・財団が運営する定例講座とは別に、市民が主催して行う講師主催講座を貸館対応で実施していくことで新たな「教えたい・学びたい」市民の文化活動を展開

イ 事業内容

(ア) サービスと利便性の向上

例：休館日の祝日開館、インターネット予約受付、インターネット無料接続サービスの提供、利用料金の割引対象拡充、利用料金等のキャッシュレス決済の導入

(イ) 地域文化団体との連携強化による情報発信や運営サポート支援

例：地域文化団体との共催で文化イベント開催、貸館利用団体専用掲示板設置など

(ウ) 積極的な貸館セールス

例：ホームページの活用、地域団体への館長及び職員による利用案内・要望調査
また、入口付近設置の大型ディスプレイによる、空室状況の掲示

(エ) 省エネルギーや環境を意識した設備管理

例：節電、環境保護の取り組みの日常業務への組み入れ

ウ 文化センター利用状況表

令和4年4月～令和5年3月

※利用率・・・実利用率

		東灘区文化センター	灘区文化センター	葦合文化センター	生田文化センター	中央区文化センター	兵庫区文化センター	北区文化センター	北神区文化センター	長田区文化センター	別館 ピルホール	須磨区文化センター	北須磨文化センター	垂水区文化センター	西区文化センター	合計		
貸室利用	(大会議室)	利用者数	131,296	117,802	閉館	3,438	22,928	-	39,636	39,392	37,074	89,584	10,644	5,323	58,246	36,053	591,416	
		利用件数	640	881		52	385	-	521	414	325	425	244	295	285	403	4,870	
		利用率(%)	64.6%	90.4%		21.1%	54.8%	-	53.1%	42.5%	33.4%	44.8%	24.9%	31.7%	37.7%	41.1%	45.0%	
	会議室	利用者数	73,084	77,352	6,714	6,774	106,442	61,895	64,275	46,296	60,864	22,339	40,438	12,244	81,169	80,860	740,746	
		利用件数	3,478	3,742	395	363	6,689	3,856	3,236	3,669	3,315	1,234	2,153	1,912	5,422	4,193	43,657	
		利用率(%)	58.6%	76.8%	26.7%	24.5%	45.4%	39.5%	55.0%	53.8%	37.8%	42.1%	36.6%	29.3%	61.7%	61.1%	46.4%	
	特目室	利用者数	44,196	87,311	324	4,723	43,603	23,536	10,993	21,821	23,325	29,110	24,041	13,848	32,262	54,463	413,556	
		利用件数	3,148	4,527	35	497	2,152	1,459	779	2,081	1,562	1,408	2,131	1,261	1,763	3,904	26,707	
		利用率(%)	45.4%	51.6%	14.2%	28.7%	38.3%	29.9%	26.5%	35.6%	26.7%	37.4%	36.2%	19.3%	36.1%	49.7%	34.0%	
	(プール室)	利用者数	-	39,024	-	7,172	-	43,484	63,149	-	59,877	-	-	83,973	閉館	-	-	296,679
		利用件数	-	962	-	243	-	1,827	2,240	-	2,728	-	-	2,688		-	-	10,688
		利用率(%)	-	98.7%	-	98.4%	-	96.2%	76.1%	-	70.0%	-	-	96.1%		-	-	89.3%
	合計	利用者数	248,576	321,489	7,038	22,107	172,973	128,915	178,053	107,509	181,140	141,033	75,123	115,388	171,677	171,376	2,042,397	
		利用件数	7,266	10,112	430	1,155	9,226	7,142	6,776	6,164	7,930	3,067	4,528	6,156	7,470	8,500	85,922	
		利用率(%)	52.4%	64.8%	24.9%	31.2%	43.8%	43.2%	53.1%	42.5%	40.7%	40.1%	35.5%	36.7%	51.8%	54.2%	43.9%	
前年同期	利用者数	177,209	162,630	22,525	97,888	開館前 (2023年7月開館)	106,031	152,539	98,684	141,425	118,763	71,168	99,665	224,535	145,310	1,618,372		
	利用件数	6,334	7,985	1,649	4,521		6,328	6,239	5,428	6,760	2,576	4,169	5,273	8,794	8,109	74,165		
	利用率(%)	49.1%	54.5%	25.6%	32.7%		40.7%	52.0%	42.5%	36.9%	35.1%	34.8%	31.6%	56.5%	55.0%	42.1%		

【ワクチン接種会場での使用】

○接種会場

- ・灘区文化センター 場所:大会議室等
- ・北区文化センター 場所:すずらんホール等
- ・長田区文化センター 場所:談話室等 ※上記の集計データには含まず。

期間: 令和4年3月1日～令和4年9月30日
 期間: 令和3年4月16日～令和4年7月31日
 期間: 令和3年4月16日～令和5年3月31日

収益事業

(1) 神戸文化ホール貸館・管理事業

神戸文化ホールにおいて、コンベンションなど文化活動以外を目的とする活動の場の提供を図る。また自動販売機設置や駐車場など神戸文化ホール利用者へのサービス向上に努めた。

※施設概要 大ホール、中ホール、リハーサル室、練習室 1～5、
多目的室、特別控室
自動販売機 : 7 台
駐車場（神戸文化ホール練習場） : 10 台

【貸館利用件数】 大ホール 合計 216 件 うち収益 67 件
中ホール 合計 255 件 うち収益 51 件

(2) 神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業

芸術文化活動以外を目的とする活動の場を提供した。また自動販売機設置を行うほか、飲食店舗「はっちゃんの台所」など利用者へのサービス向上と地域の賑わいづくりにつながる 1 room の活用を行った。

※施設概要 多機能ホール、視聴覚ホール、ギャラリー、リハーサル室 1～2、
会議室 1～2、スタジオ 1～3、1room 等
自動販売機 : 4 台

【貸館利用件数】 ホール 合計 288 件
シアター 合計 137 件
ギャラリー 合計 387 件
リハーサル室 合計 521 件
スタジオ 合計 334 件
アトリエ 合計 44 件
会議室 合計 412 件
貸館合計 2,123 件 うち収益 131 件

(3) 文化センター講座・地域連携事業

当財団が指定管理者として管理運営する文化センターにおいて、健康・スポーツなどの文化振興目的以外で利用者ニーズの高い講座や自主事業を開催した。

※例 定例講座：健康体操、スポーツ吹矢、バドミントン、卓球、スイミング等
地域連携事業：コミュニティフェスティバル、卓球大会等

【定例講座件数】 合計 3,733 件 うち収益 1,201 件
【地域連携事業件数】 合計 57 件

(4) 文化センター貸館・管理事業

指定管理者である文化センターにおいて、イベントなど文化活動以外を目的とする活動の場を提供した。また自動販売機設置や駐車場等文化センター利用者へのサービス向上に努めた。

※施設概要 大ホール、会議室、多目的室、和室・音楽室・美術室・陶芸室、
体育館、プール等
自動販売機 : 34 台
駐車場（北神区文化センター） : 123 台

【貸館利用件数】 合計 85,922 件 うち収益 34,578 件

法人管理運営事業（法人運営全体に関わる事業）

（１）専門性の強化・効率的な執行体制の構築

芸術文化事業についての研修等の充実を図り、職員の知識の向上及び専門性の強化など人材育成に努めるとともに、優秀な職員を固有職員として登用した。

職員に基礎実務研修や専門家を招聘した特別講義等を定期的で開催するほか、財団の自主事業を活用した研修など、人材育成プログラムの充実を図っている。

令和３年度から、外部の専門人材を登用し新文化ホールを見据えた演奏事業、文化ホール事業の強化を行うほか、イベント運営のノウハウ修得も目指し「六甲ミーツ・アート芸術散歩」の事務局を担う六甲山観光株式会社への職員派遣を引き続き実施している。

自主事業の職員参加実績（再掲）

令和4年4月1日～令和5年3月31日

No.	日付 (公演日)	事業名	会場(施設名)	参加者数(人)
1	9月10日	アートマネジメント講座 キャリア・プランニング講座①(講師:唐津絵理)	あすてっぶKOBE セミナー室 1・2	16
2	8月17日	音楽劇「気づかいルーシー」	文化ホール中ホール	4
3	10月1日	手話裁判劇『テロ』	KAVCホール	35
4	10月29日	アートマネジメント講座 キャリア・プランニング講座②(講師:志賀玲子)	あすてっぶKOBE セミナー室1・2	17
5	11月26日	チャレンジジャンボリー2022	文化ホール中ホールほか	15
6	12月3日	アートマネジメント講座 キャリア・プランニング講座③(講師:新井陽子)	あすてっぶKOBE セミナー室1・2	14
合 計				101

（２）経営基盤の強化

事業における更なる経費の見直し、ICTの活用による業務の効率化などを進めるとともに、公益性の高い事業に対し国等からの外部助成金の積極的な獲得を行った。

また、当財団事業について、改めて再構築の観点から徹底的な見直しを進め、事業部毎の独立採算を目指し、令和３年度よりセグメント会計を導入している。

指定管理施設利用実績

1 神戸文化ホール

		令和3年度実績	令和4年度実績
利用率 (踏入率)	大ホール	61.5%	68.6%
	中ホール	69.2%	79.5%
利用率 (実利用率)	大ホール	54.6%	58.1%
	中ホール	63.4%	70.6%
利用者数	大中ホール	157,371人	254,802人
	練習室含む	178,600人	296,132人
利用者満足度		96.0%	100%
友の会 加入数	個人	977人	671人
	法人	0	0

2 神戸アートビレッジセンター

		令和3年度実績	令和4年度実績
利用率 (踏入率)	ホール	60.1%	65.1%
	シアター	75.8%	31.5%
	ギャラリー	77.9%	77.7%
利用率 (実利用率)	ホール	54.7%	59.5%
	シアター	73.9%	28.2%
	ギャラリー	77.9%	77.7%
利用者数		109,098人	78,933人
利用者満足度		99.4%	99.4%

3 文化センター

		令和3年度実績	令和4年度実績
利用率 (踏入率)	全体	67.1%	71.4%
	うちホール	66.4%	66.0%
利用率 (実利用率)	全体	42.1%	43.9%
	うちホール	48.3%	45.0%
講座受講者数		47,900人	49,668人
利用者満足度		97.9%	97.3%

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

【神戸からの創造・発信を行う】

KPI	R4 年度実績
（事業部） 令和 5 年度より企画・制作及び発信型事業 年 1 演目以上実施	令和 4 年度は参考 2 件
（事業部） 他館連携型の事業の企画・実施 年 1 回以上	達成 1 回
（事業部、管理部、KAVC、文化センター部 及び文化センター） 文化センター、KAVC で行われる公演のうち、 その発展性を見込んで文化ホールでの開催 に移行するものの選定 年 1 回以上	達成 1 回
（事業部） 相談窓口利用者の発展的活動展開 利用者 の 70%以上	未達成 利用者アンケート回答で「ほぼ解決 できた・非常に役に立った」と 回答 50%

【地域社会の絆をつなぐ】

KPI	R4 年度実績
（事業部、管理部、KAVC、文化センター部 及び文化センター） 公演におけるバリアフリーへの工夫 自主 事業毎に 1 つ以上	達成 こどもコンサートにおける点字 プログラム配布、手話裁判劇『テ ロ』における車いすでの鑑賞対 応、文化センター子供向けイベ ントでのベビーカーの置き場の設 置等
（事業部、KAVC、文化センター部及び文化 センター） 社会包摂型の自主事業 年に 1 回以上	達成 6 回（こどもコンサート関連事業 含む）
（事業部、KAVC、文化センター部及び文化 センター） 多文化共生を目指す自主・共催事業等 年 に 1 回以上	達成 1 1 回（こどもコンサート関連事 業含む）
（事業部営業企画課及び文化振興課） C 情報フォロワー数 1 万人以上	未達成 2, 043 人
（KAVC、文化センター部及び文化センター） 各文化センターにて地域文化活性化事業を 実施 年 3 回以上	達成 各文化センター年 3 回以上実施
（KAVC、文化センター部及び文化センター） 講座参加者数 20% 増（対令和 3 年度比。講 師主催講座含む。）	未達成 4 % 増

【くらしと芸術文化をつなぐ】

KPI	R4 年度実績
（事業部、KAVC、文化センター部及び文化センター） 市民ネットモニターアンケート「過去1年間で芸術文化を鑑賞した人の割合（絵画・音楽・演劇・映画・ダンス等）80%以上	未達成 54.9%
（事業部、KAVC、文化センター部及び文化センター） 敷居を下げた参加しやすい自主事業の企画、継続実施 年に5回以上	達成 15回
（事業部） 異分野との連携による事業の企画・実施 年1回以上	達成 1回

【学ぶ、トライするを支える】

KPI	R4 年度実績
（事業部、KAVC、文化センター部及び文化センター） アートマネジメント人材養成事業への参加者 年100人以上	達成 148人
（事業部、KAVC、文化センター部及び文化センター） 新たな市民を呼び込む事業数 年30回以上	未達成 19回
（文化センター部及び文化センター） 講座参加者数20%増（再掲）	未達成 4%増
（事業部文化ホール事業課及び演奏課） 市内小学生が実演芸術を経験する 小学校期間中に1回以上	達成 （例）演奏課、インリーチ・アウトリーチ

【経営を安定化する】

KPI	R4 年度実績
(全部署) 助成金の新規申請及び獲得 毎年度新規 1 件以上増	達成 4 件
(総務部) 一般正味財産が必要とされる充当額を毎年 度下回らない	未達成 正味財産 R3 146,171,225 R4 ▲ 37,273,668
(総務部) 財政・経理に関する職員研修 毎年度 1 回 以上	達成 2 回
(総務部) 常勤役員を除く、課長級以上の市出向職員 の比率 40% 以下	達成 24%

3 令和4年度決算

(1) 事業別収支計算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日, 単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
公益目的事業会計	1,920,062,482	公益目的事業会計	1,954,004,272
文化振興事業収入	29,097,338	文化振興事業支出	29,417,017
演奏事業関係収入	265,639,197	演奏事業関係支出	258,957,746
営業企画収入	4,654,204	営業企画支出	9,982,367
文化ホール公演事業収入	91,347,335	文化ホール公演事業支出	94,695,637
文化ホール貸館・管理事業収入	264,852,730	文化ホール貸館・管理事業支出	268,511,926
神戸アートビレッジセンター公演事業収入	8,069,086	神戸アートビレッジセンター公演事業支出	18,092,324
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	144,332,281	神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業支出	130,185,900
文化センター講座等事業収入	327,119,098	文化センター講座等事業支出	321,164,212
文化センター貸館・管理事業収入	762,493,713	文化センター貸館・管理事業支出	798,010,295
あじさいホール運営収入	22,440,000	あじさいホール運営支出	22,446,875
50周年事業収入	17,500	50周年事業支出	2,539,973
収益事業等会計	836,003,668	収益事業等会計	778,095,465
文化ホール貸館・管理事業収入	81,298,047	文化ホール貸館・管理事業支出	62,905,547
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	19,156,871	神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業支出	15,148,488
文化センター講座等事業収入	163,000,265	文化センター講座等事業支出	151,073,692
文化センター貸館・管理事業収入	572,548,485	文化センター貸館・管理事業支出	548,967,738
法人会計	92,735,562	法人会計	153,975,643
財団管理運営事業収入	92,735,562	財団管理運営事業支出	153,975,643
当期収入合計 (A)	2,848,801,712	当期支出合計 (B)	2,886,075,380
		当期収支差額 (A) - (B)	△ 37,273,668

*神戸市からの収入

(1)補助金 338,952千円

(2)受託料 1,294,816千円

(2) 正味財産増減計算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日, 単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用収益	0	0	334,600	334,600
文化事業収益	407,640,679	163,000,265	82,886	570,723,830
管理受託収益	858,143,140	471,105,778	0	1,329,248,918
施設利用料金収益	360,983,488	199,303,617	0	560,287,105
受取補助金等	293,245,175	2,594,008	91,886,000	387,725,183
受取寄付金	50,000	0	0	50,000
受取利息	0	0	142	142
雑収益	0	0	431,934	431,934
経常収益計	1,920,062,482	836,003,668	92,735,562	2,848,801,712
(2) 経常費用				
事業費	1,954,004,272	778,095,465	0	2,732,099,737
管理費	0	0	153,085,268	153,085,268
経常費用計	1,954,004,272	778,095,465	153,085,268	2,885,185,005
当期経常増減額	△ 33,941,790	57,908,203	△ 60,349,706	△ 36,383,293
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	10,275	10,275
当期経常外増減額	0	0	△ 10,275	△ 10,275
他会計振替額	7,154,943	△ 7,154,943		0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 26,786,847	50,753,260	△ 60,359,981	△ 36,393,568
法人税、住民税及び事業税	0	880,100	0	880,100
当期一般正味財産増減額	△ 26,786,847	49,873,160	△ 60,359,981	△ 37,273,668
一般正味財産期首残高	24,120,610	181,667,539	△ 92,576,206	113,211,943
一般正味財産期末残高	△ 2,666,237	231,540,699	△ 152,936,187	75,938,275
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	0	0	200,000,000
指定正味財産期末残高	200,000,000	0	0	200,000,000
正味財産期首残高	224,120,610	181,667,539	△ 92,576,206	313,211,943
III 正味財産期末残高	197,333,763	231,540,699	△ 152,936,187	275,938,275

(3)貸借対照表

(令和5年3月31日現在, 単位: 円)

科 目	金額	科 目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	3,654,716	未払金	281,266,718
預金	354,300,579	前受金	153,594,316
未収金	130,462,826	預り金	14,650,282
前払金	13,915,295	短期借入金	50,000,000
預け金	26,000	賞与引当金	25,849,343
流動資産合計	502,359,416	流動負債合計	525,360,659
2. 固定資産		2. 固定負債	
(1)基本財産		退職給付引当金	8,743,459
投資有価証券	209,482,246	固定負債合計	8,743,459
預金	7,427,754	負債合計	534,104,118
基本財産合計	216,910,000		
(2)特定資産		III 正味財産の部	
退職給付引当資産	8,743,459	1. 指定正味財産	
神戸文化ホール50年事業積立資産	43,530,627	基本財産	200,000,000
特定資産合計	52,274,086	指定正味財産合計	200,000,000
什器備品	5,853,341	(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)
保証金	32,645,550	2. 一般正味財産	75,938,275
その他固定資産合計	38,498,891	(うち基本財産への充当額)	(16,910,000)
固定資産合計	307,682,977	(うち特定資産への充当額)	(52,274,086)
		正味財産合計	275,938,275
資産合計	810,042,393	負債及び正味財産合計	810,042,393

(4) 財産目録

(令和5年3月31日現在, 単位: 円)

科 目	金額	科 目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金		未払金	
手元有高	3,654,716	神戸市精算金、未払法人税等	281,266,718
普通預金		前受金	
三井住友銀行ほか2行	347,253,737	文化ホール利用料等	153,594,316
振替預金		預り金	
ゆうちょ銀行	6,806,842	自主事業入場料収入等	14,650,282
定期預金		短期借入金	
三井住友銀行	240,000	運転資金として	50,000,000
未収金	130,462,826	賞与引当金	25,849,343
前払金	13,915,295	流動負債合計	525,360,659
預け金	26,000		
流動資産合計	502,359,416		
2. 固定資産		2. 固定負債	
(1) 基本財産		退職給付引当金	8,743,459
投資有価証券		固定負債合計	8,743,459
地方債等	209,482,246		
普通預金	517,754		
定期預金	6,910,000		
基本財産合計	216,910,000		
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	8,743,459		
神戸文化ホール50年事業積立資産	43,530,627		
特定資産合計	52,274,086		
(3) その他固定資産			
什器備品	5,853,341		
保証金	32,645,550		
その他固定資産合計	38,498,891		
固定資産合計	307,682,977		
		負債合計	534,104,118
資産合計	810,042,393	差引正味財産	275,938,275

(5) 事業別収入明細書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日, 単位:円)

科 目	収 入	内 訳						
		事業収入	指定管理料等 収入	補助金収入	助成金収入	利用料金 収入	寄付金収入	その他収入
公益目的事業会計	1,920,062,482	408,217,615	856,987,644	252,051,143	41,194,032	361,562,048	50,000	0
文化振興事業収入	29,097,338	13,595,438	0	15,501,900	0	0	0	0
演奏事業収入	265,639,197	39,405,372	0	192,869,243	33,364,582	0	0	0
営業企画収入	4,654,204	54,204	0	4,600,000	0	0	0	0
文化ホール公演事業収入	91,347,335	24,037,917	47,600,000	16,640,000	3,019,418	0	50,000	0
文化ホール貸館・管理事業収入	264,852,730	0	98,547,197	0	0	166,305,533	0	0
神戸アートビレッジセンター公演事業収入	8,069,086	3,988,086	0	0	4,081,000	0	0	0
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	144,332,281	0	135,570,780	0	726,656	8,034,845	0	0
文化センター講座等事業収入	327,119,098	327,119,098	0	0	0	0	0	0
文化センター貸館・管理事業収入	762,493,713	0	575,269,667	0	2,376	187,221,670	0	0
あじさいホール運営収入	22,440,000	0	0	22,440,000	0	0	0	0
50周年事業収入	17,500	17,500	0	0	0	0	0	0
収益事業等会計	836,003,668	163,000,265	471,105,778	0	2,594,008	199,303,617	0	0
文化ホール貸館・管理事業収入	81,298,047	0	40,543,551	0	2,508,000	38,246,496	0	0
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	19,156,871	0	18,229,692	0	84,344	842,835	0	0
文化センター講座等事業収入	163,000,265	163,000,265	0	0	0	0	0	0
文化センター貸館・管理事業収入	572,548,485	0	412,332,535	0	1,664	160,214,286	0	0
法人会計	92,735,562	0	0	86,901,000	4,985,000	0	0	849,562
管理運営事業収入	92,735,562	0	0	86,901,000	4,985,000	0	0	849,562
合 計	2,848,801,712	571,217,880	1,328,093,422	338,952,143	48,773,040	560,865,665	50,000	849,562

(6) 事業別支出明細書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日, 単位:円)

科 目	合 計	内 訳	
		人 件 費	物 件 費
公益目的事業会計	1,954,004,272	306,140,960	1,647,863,312
文化振興事業支出 (あじさいホール事業を含む)	51,863,892	15,916,958	35,946,934
演奏事業関係支出	258,957,746	48,268,653	210,689,093
営業企画支出	9,982,367	8,362,961	1,619,406
文化ホール関係支出	363,207,563	71,604,389	291,603,174
神戸アートビレッジセンター関係支出	148,278,224	52,337,669	95,940,555
文化センター関係支出	1,119,174,507	109,650,330	1,009,524,177
50周年事業	2,539,973	0	2,539,973
収益事業等会計	778,095,465	87,917,911	690,177,554
文化ホール関係支出	62,905,547	8,826,754	54,078,793
神戸アートビレッジセンター関係支出	15,148,488	6,074,908	9,073,580
文化センター関係支出	700,041,430	73,016,249	627,025,181
法人会計	153,975,643	44,458,277	109,517,366
管理費等支出	153,975,643	44,458,277	109,517,366
合 計	2,886,075,380	438,517,148	2,447,558,232

(7)財務状況の推移

(単位：千円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	3 → 4増減	
正味財産増減計算書	一般正味財産増減の部	当期経常増減額	▲ 95,803	146,793	▲ 36,384	▲ 183,178
		経常収益	2,302,488	2,870,435	2,848,801	▲ 21,634
		うち公益	1,649,793	1,972,410	1,920,062	▲ 52,348
		うち公益以外	652,695	898,025	928,739	30,714
		経常費用	2,398,291	2,723,642	2,885,185	161,543
		うち事業費（公益）	1,720,018	1,911,023	1,954,004	42,981
		うち事業費（公益以外）	595,580	716,308	778,095	61,787
		うち管理費（公益）	0	0	0	0
		うち管理費（公益以外）	82,693	96,311	153,086	56,775
		評価損益等	0	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	▲ 10	▲ 10	
	経常外収益	0	0	0	0	
	経常外費用	0	0	10	10	
	法人税、住民税及び事業税	322	622	880	258	
	当期一般正味財産増減額	▲ 96,125	146,171	▲ 37,273	▲ 183,444	
	一般正味財産期首残高	263,165	167,040	313,211	146,171	
	一般正味財産期末残高	167,040	313,211	275,938	▲ 37,273	
	指定正味財産	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
		指定正味財産増加額	0	0	0	0
		指定正味財産減少額	0	0	0	0
うち一般正味財産への振替額		0	0	0	0	
指定正味財産期首残高		0	0	0	0	
指定正味財産期末残高		0	0	0	0	
正味財産期首残高	263,165	167,040	313,211	146,171		
当期正味財産増減	▲ 96,125	146,171	▲ 37,273	▲ 183,444		
正味財産期末残高	167,040	313,211	275,938	▲ 37,273		
貸借対照表（B/S）	資産合計	684,491	741,151	810,042	68,891	
	流動資産	425,111	377,757	502,359	124,602	
	固定資産	259,380	363,394	307,683	▲ 55,711	
	うち建物	0	0	0	0	
	負債合計	517,449	427,940	534,104	106,164	
	流動負債	513,273	421,388	525,361	103,973	
	うち短期借入金	0	0	50,000,000	50,000,000	
	固定負債	4,177	6,552	8,743	2,191	
	うち長期借入金	0	0	0	0	
	正味財産合計	167,040	313,211	275,938	▲ 37,273	
指定正味財産	200,000	200,000	200,000	0		
一般正味財産	▲ 32,960	113,211	75,938	▲ 37,273		

V 令和5年度事業計画

1 概 要

平成29年に改正された「文化芸術基本法」では、文化芸術の意義と価値を尊重しつつも、文化芸術そのものだけではなく、観光やまちづくり、国際交流、福祉、教育などと連携し、文化芸術により生み出されるさまざまな価値を活用することにより、心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に貢献することを目的としている。また、神戸市においては、「神戸2025ビジョン」やその具体的施策として、市の文化芸術施策が目指す姿や基本的な方向性を示す指針となる「神戸市文化芸術推進ビジョン」が策定されている。

当財団でも、これらのビジョン等を踏まえ、令和4年度から令和8年度を計画年度として策定した「中期経営計画2026」に基づいて、神戸市民の文化の活動の振興に資する事業を行っていく。

令和5年度については、神戸文化ホールが開館50周年を迎えるほか、神戸ジャズ100周年という記念すべき年であることを踏まえ、個性豊かな魅力ある神戸文化の創造に寄与すべく『神戸文化ホール開館50周年記念事業 Creating in Kobe | 神戸で創る』、「神戸ジャズ100周年記念事業」、また、リニューアルオープンした新開地アートひろばの管理運営を通して、子どもをはじめとするあらゆる世代の人々の交流や地域活性化及び文化芸術振興に資する事業を行っていく。

【主な事業内容】

(1) 神戸文化ホール開館50周年記念事業

神戸文化ホールは昭和48年10月11日に開館し、令和5年に開館50周年という大きな節目の年を迎える。50年間、神戸市民と共に文化創造に取り組み、発信し続けてきた。そして、これからも成長を続け、個性豊かな魅力ある神戸文化の創造に寄与すべく、令和5年より『神戸文化ホール開館50周年記念事業 Creating in Kobe | 神戸で創る』を3年間に渡り行う。

神戸が生み出した芸術家・芸術作品、神戸で活躍する芸術家などの貴重な文化資産、そして市域をこえた近隣地域の芸術活動にも焦点をあて、これまで神戸文化ホールが積み重ねてきた歴史に学びそれを発展させながら、神戸で実演芸術を新たに創り出す。

【令和5年度（2023年度）テーマ 港町讃歌】

- | | |
|----------|--------------------|
| 5/19（金） | 「ガラ・コンサート 神戸から未来へ」 |
| 10/21（土） | 「緑のテーブル2017」 |
| 12/16（土） | 「天地創造」 |
| 1/上旬 | 「ジャズ大名」 |

<ガラ・コンサート 神戸から未来へ>

令和5年より3年に渡り行う『神戸文化ホール開館50周年記念事業』のはじまりを告げる公演、テーマに掲げる「Creating in Kobe | 神戸で創る」を具現化する祝祭として5/19（金）に実施。神戸市室内管弦楽団、神戸市混声合唱団およびその他のゲストを日本が誇るマエストロ、山田和樹が率いた。

戦前戦後に活躍した神戸の知られざる巨匠、作曲家・大澤壽人が戦時下で秘密裏に書いた作品の復活演奏のほか、神戸や阪神間の児童で編成した児童合唱団による合唱など盛りだくさんのプログラムを披露し、来場者数は1,000人に迫った。また、公演日とその翌日に本公演の様子がNHKニュースで取り上げられ、日経新聞等の紙面にも掲載されるなど、公演趣旨を踏まえた高い評価を得ている。

<緑のテーブル 2017 ～神戸文化ホール開館50周年記念 Ver. ～>

1932年にドイツの振付家クルト・ヨースが生んだ「緑のテーブル」をもとに、神戸を拠点に国内外で活躍する岡登志子が2017年に完全オリジナルとして創作発表した作品を、神戸を代表する貞松・浜田バレエ団団長の貞松融をゲストに迎えて開館50周年ヴァージョンとして再構築する。また、作品のフィナーレを飾る「祈りの踊り」の場面では、一般市民からも募集した総勢50名で踊りを企画にも取り入れ、「反戦バレエ」とも呼ばれる原作の精神を受け継ぎ、人間の営みにおける普遍的なものを問いかけ浮かび上がらせるダンス作品として上演する。

<神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団合同定期演奏会『ハイドン：オラトリオ《天地創造》』>

令和3年（2021年）にヘンデルの《メサイア》で年末の神戸を沸かせた鈴木秀美と両団が神戸文化ホール50周年に《天地創造》を届ける。ロンドンで《メサイア》をはじめヘンデルのオラトリオを聞いたハイドンが刺激を受けて作曲したこの作品はまさに《メサイア》上演の後および50周年行事としてふさわしい作品。豪華ソリスト陣とともに大作に挑む。

<ジャズ大名>

神戸在住の作家、筒井康隆の傑作小説「ジャズ大名」の舞台化。ジャズとの出会いを描く物語を、生演奏とダンスの狂乱で送るコメディ作品。人を魅惑する音楽の悦びと妖しさが、大きな転換期を迎える令和の世に、また神戸ジャズ100周年を祝う神戸の街に力強く鳴り響く！ 神戸と並んでジャズで賑わう港町、神奈川・横浜のKAAT神奈川芸術劇場等と連携して実施する。

(2) 神戸ジャズ100周年記念事業

大正12年（1923年）、神戸で日本初のプロバンドがジャズを演奏してから、令和5年（2023年）で100周年を迎えることから、神戸市・財団・「ジャズの街神戸」推進協議会等が中心となり、記念事業を展開する。財団では、ホームページなどの広報面を担うとともに、自主事業として、神戸文化ホールでのジャズコンサートを企画・実施することで、多彩なジャズの魅力を発信し普及啓発をはかる。また、100周年を機に、地元関

係団体等が中心となって企画・運営するまちなかでのジャズフェスイベント「Kobe Jazz Centennial」での事務局機能を担い、事業の立上げを支援する。

(3) 新開地アートひろば「ニューあそび場の創造」

令和5年度より、神戸アートビレッジセンター（KAVC）は、新開地アートひろばとしてリニューアルオープンした。子どもをはじめとするあらゆる世代の人々の交流による芸術その他の文化の創造、育成及び情報発信の拠点となるよう、地域に開かれた場所となる1階スペースを中心に施設を『あそび場』として捉え、毎月多彩なジャンルのアーティストと協働し、あそべる作品や空間を創造し、体験から鑑賞まで様々な形で文化芸術を通じたあそびに触れることが出来る事業を目指す。

事業例：「ズガ・コウサクとクリ・エイト」、「新開地おばけひろば」

(4) 神戸文化ホールウェルカムジャンボリー2023『コブホであそぼ！』

神戸文化ホールをアートのテーマパークに見立て、これまでホールに足を運ぶ機会がなかった人たちが訪れる楽しく、バリアフリーで、多様性に富んだ開放的なアートフェスティバルとして開催。6回目となる今年度は、「絵本 de クラシックコンサート」とマダム俳優のいいむろなおきを中心とした「カムカムパフォーマンスショー」をメインプログラムに据え、大倉山公園で飲食も出来るマルシェを開催するなどしてアフターコロナを見据えた開放的な事業を行った。

2 事業計画

公益目的事業

(1) 文化ホール

① 文化ホール公演事業

ア 事業方針

- ・普及啓発及び人材育成型の事業を充実させながら、50周年事業を中心に神戸文化ホールを拠点とした創造発信事業に着手
- ・先進的な取り組みを行っている他都市の優れた文化施設と連携しながら優れた舞台芸術の鑑賞機会を強化
- ・財団のネットワークを活用した市民・芸術家・文化団体・他地域の文化施設などとの交流や連携を強化

イ 事業内容

(ア) 創造発信事業

地元芸術団体や文化の担い手である若手芸術家に発表の機会を提供するとともに、実績のある著名なアーティストや他都市の先進的な文化施設との関係作りを強化する中で制作や技術面でのスタッフの能力向上に努め、本格的な創造発信事業に着手する体制を整える。特に50周年事業の一つ「緑のテーブル2017」では「開館50周年記念ヴァージョン」として、作品の再構築に取り組み創造発信事業の基盤づくりとする。

(イ) 普及啓発・人材育成事業

子どもたちや働き盛りの若い世代、また障がいを持つ人や外国籍の人たちが楽しくホールに集い、交流し、アートに親しむフェスティバル型の事業「ウェルカムジャンボリー2023」を実施。未来を担う子どもたちや若い世代が舞台芸術に触れる機会を生み出しながら、新たな観客を育成し、地域に必要とされるホール運営を目指す。

また、「アートマネジメント人材養成講座」を開催しアートマネジメントの「担い手」養成に取り組むとともに芸術文化観光専門職大学の学生をインターン生として受け入れる。

(ウ) 鑑賞事業

質の高い公演や、民間では実現しにくい公演などを中心に、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。

具体的には神奈川芸術劇場他と連携し開館50周年事業として実施する筒井康隆原作の音楽劇「ジャズ大名」や世田谷パブリックシアターが制作するスペインのダンスカンパニー＝ラルンベ・ダンサによる“ダンス×3D映像”のノンバーバル(言語を使わない)・パフォーマンス「エアー～不思議な空の旅」を開催する。

ウ 令和5年度文化ホール公演事業一覧

(単位：人)

事業名	開催時期	公演数	開催場所	入場者数
創造発信事業	6事業7公演			7,200
緑のテーブル2017 ～神戸文化ホール開館50周年記念Ver.～	10/21	1	神戸文化ホール 中ホール	700
和太鼓松村組 神戸公演2023	12/2	1	神戸文化ホール 大ホール	1,600
貞松・浜田バレエ団 「くるみ割り人形と秘密の花園」	12/23, 24	2	神戸文化ホール 大ホール	3,000
SING' N' PRAY	1/27	1	神戸文化ホール 中ホール	500
PRAY FROM KOBE ～明日につなげるコンサート～	1/28	1	神戸文化ホール 大ホール	1,000
第十六回 神戸能	3/20	1	神戸文化ホール 中ホール	400
普及啓発・人材育成事業	5事業18公演			12,311
神戸文化ホール ウェルカムジャンボリー2023 プレイベント	4/22	1	NATURE STUDIO	22
	5/21	1	こども本の森 神戸	93
神戸文化ホール ウェルカムジャンボリー2023 コブホであそぼ！	6/17	1	神戸文化ホール 大ホール他	800
アートマネジメント人材養成講座 スペシャル講座 講師：宮城聡（演出家/SPAC-静岡県舞台芸術センター芸術総監督）	7/30	1	神戸市中央区文化セ ンター	100
エアー～不思議な空の旅～ 関連ワークショップ	8/3	1	神戸文化ホール 練習室	50
アートマネジメント人材養成講座 企画制作講座	9/30 10/28 12/2	各1 (計3)	あすてっふKOBE セミナー室	240
2023年度 劇団四季こころの劇場 神戸公演 ミュージカル「ジョン万次郎の夢」	11/14～17	8	神戸文化ホール 大ホール	11,000
芸術文化観光専門職大学インターン受け入れ	夏季 冬季	各1 (計2)	財団本部	6
鑑賞事業	4事業8公演			4,900
劇団唐組第71回公演「透明人間」	4/28, 29, 30	3	湊川公園	650
エアー～不思議な空の旅～	8/5	1	神戸文化ホール 中ホール	450
第46回 東西落語名人選	9/17	2	神戸文化ホール 中ホール	1,300
ジャズ大名	1月上旬	2	神戸文化ホール 大ホール	2,500
神 戸 文 化 ホ ー ル 事 業 合 計	15事業33公演			24,411

② 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

ア 事業方針

- ・神戸文化ホールにおける質の高い演奏の提供
- ・演奏水準のさらなる向上
- ・広報強化、アウトリーチの実施による両楽団の周知
- ・自主公演への集客強化と新たな依頼公演の獲得

イ 事業内容

(ア) 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

当財団が全国の自治体で唯一、ホール専属の神戸市室内管弦楽団と神戸市混声合唱団を保有・運営している強みを活かし、実力ある両団を核とした創造力あふれる企画発信や年齢や障がいを越えて子ども達が楽しむことができる「こどもコンサート」の実施など、普及啓発や社会包摂事業の充実をはかり、「音楽のまち神戸」のシティプロモーション、シビックプライドの醸成に資する。

(イ) 楽団の周知・魅力発信の取り組み

次代を担う子ども達に対する鑑賞機会の提供のため、小学生を神戸文化ホールに招待する「インリーチ事業」と、令和元年度より6年間で市内全小学校へ出張演奏を行う「アウトリーチ事業(5年目)」に地元の音楽家とも連携し継続して取り組んでいく。さらに、市内在住者が通う特別支援学校へのアウトリーチ(出張コンサート)も実施する。

また、神戸市室内管弦楽団、神戸市混声合唱団の定期演奏会を1年間のセットで聴くことができる「定期会員制度」の募集、サービス内容を強化し、安定した固定客層の獲得を目指す。

引き続き、記者懇談会の開催など効果的な広告出稿、SNSの発信の工夫等により効果的な広報活動を展開する。

ウ 令和5年度神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団事業一覧(神戸文化ホール関連)

【自主公演】

(単位：人)

事業名		開催時期	公演数	開催場所	入場者数
神戸市室内管弦楽団	第157回定期演奏会 「田園をゆく、春」	4/22	1	神戸文化ホール 大ホール	711
	第158回定期演奏会 「ウィーン古典派の万華鏡」	6/3	1	神戸文化ホール 大ホール	496
	第159回定期演奏会 「新世界の扉をたたけ！」	9/2	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	第160回定期演奏会 「ヴァイオリンの魔法」	11/11	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	第161回定期演奏会 「ラヴェルに乾杯！」	3/9	1	神戸文化ホール 大ホール	500
神戸市混声合唱団	合唱コンクール 課題曲コンサート	4/23	1	神戸文化ホール 大ホール	359
	秋の定期演奏会 「仏蘭西からの贈り物」	9/16	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	春の定期演奏会 「アメリカ！アメリカ！」	3/2	1	神戸文化ホール 大ホール	500
合同	神戸文化ホール開館50周年記念事業 ガラ・コンサート「神戸から未来へ」	5/19	1	神戸文化ホール 大ホール	911
	こどもコンサート	7/23	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	合同演奏会 ハイドン：オラトリオ《天地創造》	12/16	1	神戸文化ホール 大ホール	500
自主公演合計					5,977

【依頼公演】

事業名		開催時期	公演数	開催場所	入場者数
混声	アウトリーチ事業（低学年）	5月下旬～3月末	36	市内小学校	5,250
合同	アウトリーチ事業（高学年）	5月下旬～3月末	31	市内小学校	5,250
混声	佐藤正浩プロデューサー・オペラ プレコンサート 『フランスオペラに恋して』 ～4人の歌手、神戸市混声合唱団とともに	8/6	1	住友生命 いずみホール	600
混声	産経新聞創刊90周年等記念コンサート ※情報解禁前・部外秘	10/27	1	榎原神宮内拝殿	300
室内	ろうきんコンサート	10/31、11/1、11/2	3	アクリエひめじ 兵庫県立芸術文化センター 神戸文化ホール 中ホール	750
合同	文化ホールインリーチ事業	2/8・9	4	神戸文化ホール 大ホール	5,000
依頼公演合計					17,150

③ 文化振興事業

ア 事業方針

- ・芸術文化による神戸ブランドの創造発信
- ・地元アーティスト・団体の芸術文化活動をサポートし、神戸文化の創造・発展に努める
- ・市民のくらしに芸術文化を根づかせる取り組み
- ・次世代の芸術文化の担い手や支え手の育成

イ 事業内容

(ア) 芸術文化による神戸ブランドの創造発信

神戸に根付いたジャズ文化を市内外へ発信するため、観光・商業・報道等さまざまなジャンルの民間企業・個人・官公庁等と連携し、「ジャズの街神戸」推進協議会の活動として、「神戸ユースジャズオーケストラ」の運営をはじめ、『神戸ジャズの日』記念イベントや、公式ウェブサイト「JAZZ TOWN KOBE」等を通じ、さまざまな神戸のジャズに関する情報を集約し、発信を行う。

また、神戸ジャズ100周年記念の自主事業として、神戸文化ホールでのジャズ・コンサートを企画・実施することで、多彩なジャズの魅力を発信し普及啓発をはかるとともに、100周年を機に、地元関係団体等が中心となって企画・運営するまちなかでのジャズコンサートイベント「Kobe Jazz Centennial」での事務局機能を担い、事業の立上げを支援する。

(イ) 情報収集・提供の充実

地元アーティスト等文化芸術関係者を対象に、ウェブサイトから気軽に相談できる「こうべ文化芸術相談窓口」を設置し、文化芸術活動に関する相談（資金調達、活動拠点、広報等）に対し、専門家等と連携し情報提供や助言等を実施する。また、セミナーや座談会等の開催により、学びや交流機会の提供に努め、新たな事業につながる取り組みを行う。

これらの取組を通じて、地域の文化芸術活動にかかる情報や、必要な知見、ネットワークを蓄積し、アフターコロナを見据えた神戸の文化芸術振興・発展につなげていくことを目指す。

(ウ) 市民参加型芸術文化事業の充実

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「神戸市吹奏楽祭」や「モーブガレット交歓会」、「シャンソン・ポピュレールコンクール」等の事業を行う。

(エ) 地元芸術文化団体との協力関係の強化及び若手芸術家の発掘・支援

神戸文化の基盤となっている地元芸術文化団体の活動を支援するとともに、神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団が行っている市内小学校へのアウトリーチ事業を地元芸術団体と連携して行う等協力関係の強化を図る。また、「神戸市吹奏楽祭」、「JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL」等を通じて今後の神戸文化の担い手となる若手人材の育成を支援する。

(オ) 芸術文化を担う人材の育成

アートマネジメント業界を志望する学生や文化芸術団体（劇場・音楽堂、実演団体）に所属するスタッフ等を対象とした講座の実施や、大学等と連携したインターンシップの受け入れ、あるいは学生等による自主的な公演制作の支援等を通じ、アートマネジメントの「担い手」養成を図る。

ウ 令和5年度文化振興課事業一覧（神戸文化ホール関連）

（単位：人）

事業名	開催時期	開催場所	入場者数
神劇まわり舞台	4月～3月	市内小劇場	1,200
KOBEJAZZDAY2023旧居留地コンサート （「ジャズの街神戸」推進事業）	4/2	旧居留地三井住友銀行 神戸営業部前	1,000
神戸ユースジャズオーケストラの運営 （「ジャズの街神戸」推進事業）	通年	100BANホール、ジー ベックホールなど	—
神戸市吹奏楽祭	4/29, 11/3	神戸文化ホール 大ホール	7,000
こうべ全国洋舞コンクール	5/3～5/6	神戸文化ホール 大・中ホール	1,956
神戸三曲協会演奏会	6/11	神戸文化ホール 中ホール	350
神戸フィルハーモニック定期演奏会等	6/25 11/7, 1/14	神戸文化ホール 大ホール	1,500
神戸ジャズ道場	8/3～8/5	神戸セミナーハウス	—
JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL	8/18～8/20	神戸文化ホール 大ホール	2,500
全日本シャンソン・ポピュラーコンクール （ファイナル）	9/23	神戸文化ホール 中ホール	300
神戸ジャズストリート	10/8・9	北野町界限10か所程度	2,000
神戸音楽家協会・神戸からのしらべ （室内名曲シリーズ）	10/29	神戸文化ホール 中ホール	300
神戸大アートマネジメント研究会 こどものためのコンサート	12/3	舞子ビラ あじさいホール	150
母親コーラス「モーブガレット交歓会」	12/7, 8	神戸文化ホール 中ホール	1,300
文化振興事業合計			19,556

④ 情報発信

ア 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団の情報発信強化

神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団について、専門人材のネットワーク・SNSを活用した積極的な情報発信、マスコミとの関係構築による記事化・放送化に引き続き取り組む。

イ インターネットによる情報発信

当財団が主催する主要事業などを幅広く紹介するとともに、管理している各施設の空室情報や講座の受講申込み、各種情報誌の内容をホームページに掲載する。

また、ツイッターやフェイスブック、インスタグラムなど多様なSNSを活用したリアルタイムの情報発信に積極的に取り組むとともに、動画共有サイト等による事業広報を展開する。

ウ 「KOBE C情報」の発信

「KOBE C情報」については、神戸及びその近郊における文化芸術イベント等をPRしたい事業実施者から情報を直接集め、ウェブサイトや複数のSNSで広く発信することで、文化芸術に関する情報のプラットフォーム形成を目指しているが、さらに活動場所や練習場所等などの検索機能を付加するなど利便性の向上に努める。

エ 文化ホール公演事業の情報発信強化

神戸文化ホールの情報発信機能として、情報誌「ほーるめいと」を発行（18,000部／隔月）する。またSNSを活用したメールマガジン、フェイスブック、ツイッターでの発信や、ホームページの内容の充実など若い職員の意見を取り入れながら発展させていく。

オ 広報PRの強化

財団事業を総合的かつ横断的にプロモーションし、公演の入場者数や入場料収入の増加につなげていく。

また、登用した専門人材の全国的なネットワークを活用し、マスコミへ各種資料提供を行うなど情報発信に積極的に取り組む。

⑤ 神戸文化ホール貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供
- ・施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営
- ・文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援
- ・基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

イ 事業内容

(ア) 弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供

年中無休、早朝仕込み・深夜撤収など、ニーズに応じた弾力的な運用を継続する。また、舞台スタッフによる専門性の高い舞台運営、ホスピタリティ溢れるホール運営で利用者をサポートする。

(イ) 施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営

利用後のアンケート等でいただいたご意見・ご要望をもとに、ホール運営全般の改善に努める。

(ウ) 文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援、広域からのホール利用の促進

抽選会における優先利用制度や練習利用の割引料金制度による地元芸術団体、若手芸術家の活動支援を継続する。また、メールを用いた事前受付制の抽選会を継続して実施することで、コロナ感染対策としての対面接触を減らすだけでなく、遠方の利用希望者のホール利用のアクセシビリティを向上させる。

(エ) 基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

設備全般にわたる日常的な点検の実施、不良箇所への速やかな対処に努め、神戸市の公共基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営を行なう。

また、キャッシュレス決済（電子マネー）で利用料金やチケット代金の支払いが可能となる電子精算機器の整備や、ホールでのインターネット配信等のため光回線利用設備を整備、非接触で入場を可能とするスマートゲートの導入により利用者にとってより使いやすくなるサービスと設備を引き続き提供する。

(2) 新開地アートひろば

① 新開地アートひろば事業

ア 事業方針

- ・文化芸術を軸とした地域の活性化と賑わいづくり
- ・子育て世代をはじめ、幅広い人々が集う、地域にひらかれた文化活動拠点
- ・継続したアーティストの育成・支援
- ・市内外の文化施設や教育機関、財団のネットワークを活用した交流や連携の強化
- ・実施事業の評価・リサーチ・研修による事業向上及び人材育成

イ 事業内容

(ア) 創造発信・地域活性化事業

アーティストとの協働による創造的プログラムを通年にわたり計画・実施する。

月替わりで様々なジャンルのアーティストを起用して事業を展開、幅広い世代に向けた鑑賞・参加型イベントを実施することで地域の文化活動拠点を目指す。

事業名：「ニューあそび場の創造」

(イ) アーティスト育成・支援事業

次代を担う若手芸術家の育成プログラムの他、アーティストの創作活動や発表の場の提供を行う。長期的にアーティストを支援する仕組み作りや、文化芸術活動に携わる様々な人に向けた育成支援事業を展開し、アートファンの裾野を広げることを目的とする。

事業名：「Go!Go! High school Project」、「アーティストサポートプログラム」

(ウ) プログラム連携・構築事業

市内文化施設との連携の他、事業評価・リサーチを実施し、事業計画の改善、スタッフの専門性を高め人材育成に繋げる。

事業名：「Marching KOBE」「事業リサーチ・評価・研修プログラム」

ウ 令和5年度 新開地アートひろば事業一覧

(単位：人)

事	業	名	開	催	時	期	公	演	数	開	催	場	所	入	場	者	数
ニューあそび場の創造事業		10		事業		116		公演		10,825							
1		「to R mansion」	5	月	10	ホール、1room、てててパーク	4,813										
2		「ズガ・コウサクとクリ・エイト」	6	月	10	ギャラリー、1room、てててパーク	1,912										
3		「新開地おぼけひろば」	7	月8	30	ギャラリー、ホール、1room、てててパーク	1,000										
4		「新開地・解開新所（前期）」	9	月	10	1room、てててパーク	400										
5		「シルクスクリーンで楽しもう！（未定）」	10	月	10	1room、てててパーク	400										
6		「amima（仮）」	11	月	6	1room、てててパーク	500										
7		「長井絵理奈（山猫団）：ダンスを渡す」	12	月	10	1room、てててパーク	500										
8		「StarMachineProject(未定)」	1	月	10	ギャラリー、1room、てててパーク	400										
9		「安住の地」	2	月	10	ホール、1room、てててパーク	500										
10		「新開地リサーチプロジェクト（後期）」	3	月	10	1room、てててパーク	400										
アーティスト育成・支援事業		2		事業		44		日間		220							
1		Go!Go!High school Project 2023	7/9(日)	～	8/20(日)	43	ホール	200									
2		アーティストサポートプログラム	通	年	1	アトリエ	20										
ネットワーク・事業評価・人材育成事業		2		事業		179											
1		Marching KOBE	通	年	-	神戸市内	179										
2		事業評価プログラム	通	年	-	新開地アートひろば											
その他事業		2		事業		12		日間		2,837							
1		新開地ジャズヴォーカルクイーンコンテスト	5/13(土)		1	ホール	200										
		新開地音楽祭	5/14(日)		1	ホール	950										
2～11		土曜マルシェ（6月）	6/10(土)		1	1room	487										
		土曜マルシェ（7～3月）	毎月第2土曜日		9	1room	1,200										
新開地アートひろば自主事業合計		16		事業		172		公演/日間		14,061							

② 情報発信

情報発信機能を充実、強化するため、チラシやホームページ、SNS など幅広い広報PRに努めると共に、子ども向けのイベント情報ツール（すぐーる等）を活用し広報活動を実施する。

③ 新開地アートひろば貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・ 条例・規則に基づいた公平・公正なサービスの提供
- ・ 利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応
- ・ 市民の芸術文化活動の促進・誘致
- ・ 利便性の向上と芸術文化活動への協力

イ 事業内容

(ア) 条例・規則に基づいた公平・公正な貸館サービスの提供

条例規則を基に「新開地アートひろば管理規定」を新規に作成、利用者に対して公平・公正なサービスを提供する。管理規定では条例規則で定められていない箇所を明確にし、恒常的に安定したサービスを引き続き提供する。

(イ) 利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応

施設の使用用途を「練習施設」「発表施設」の2つに分類し、それぞれの対応フォーマットをまとめ、利用者が安心して利用できる体制づくりを整える。「発表施設」では、予約段階から相談や打合せなどの専門知識を備えた施設運営スタッフが対応を行う。

(ウ) 市民の芸術文化活動の促進・誘致

アトリエに、専属の担当者を配置して、稼働日数を増やし、利用率の向上を目指す。

また、新たに設けられた子育て世代向けスペース（てててパーク）の運用ルールを設け、個人・団体による利用に対応した、スペースの運営を行う。キッチンスペースについても、運営時間を拡大する等により、1階スペースが立ち寄りやすく、居心地のいい空間となることを目指す。

(エ) 利便性の向上と芸術文化活動への協力

新しい施設予約システムを導入、わかりやすくスムーズな施設予約環境の提供を行い、ネット予約に対応する準備を進める。また、定期的な利用がある団体に対して、広報協力の取り組みを新たに設ける等、施設利用者から繰り返し選ばれる施設を目指す。

(3) 各区文化センター

① 文化センター講座・地域連携事業

ア 事業方針

- ・「地域住民とともに歩む文化センター」として市民の文化活動ニーズに対応、講座事業や地域連携事業の実施
- ・子育て世代、子ども対象に参加しやすい料金設定でのイベント、講座を増やす
- ・作品展示会・発表会の実施
- ・「多文化共生」をテーマにした事業実施
- ・財団が有する文化事業運営ノウハウや、文化団体との人的ネットワークを活用

イ 事業内容

(ア) 講座事業

入門者・初心者対象の文化・教養・スポーツなどの講座を、新規に学びたい方にも試みやすい3ヶ月単位の期間（春季・夏季・秋季・冬季）で開催する。また、一部センターでは引き続き、オンライン講座を継続して実施する。

(イ) 地域連携事業（地域住民参加型のイベント及び地域文化活性化事業）

各センターの特色を生かした住民参加型の事業に取り組むとともに、「農村歌舞伎」や「須磨琴」など地域の伝統文化や歴史を生かした事業を実施する。これまでの、市の文化財課や博物館との連携事業を多数展開した実績を踏まえて、今年度も文化振興に関わる他施設との連携を強化していく。

また地域文化活性化事業として、従来の伝統文化や歴史を生かした事業に加え、神戸にゆかりのある音楽家や落語家を迎えた公演等、今まで以上に色彩豊かな事業展開を行っていく。

(ウ) 作品展示会・発表会

文化センターのギャラリーやロビー、ホールにおいて、講座受講生をはじめとする市民の絵画、陶芸、写真などの作品展示会や舞踊、音楽等の発表会を実施する。

(エ) 「多文化共生」をテーマにした事業実施

神戸市が中央区文化センターの事業目標として掲げている「多文化共生」に即し、中央区文化センターを中心に外国人アーティストによる事業を実施する。神戸市在住のイタリア人ヴァイオリニストを中心とした海外アーティストのミニコンサートを中央区文化センターにおいて開催する。他にも、海外との繋がりが深い旧居留地という特色を活かし、外国人による母国文化の紹介や交流イベントなどを企画する。

ウ 令和5年度文化センター事業一覧

(単位：人)

事業名	開催時期	回数	開催場所	入場者数
文化センター共通事業				
市民の第九2023	12/9	1	神戸文化ホール	1,240
地域文化活性化事業				
書の芸術祭	7/15	1	東灘区文化センター	300
オペラ	9/15	1	東灘区文化センター	250
ミュージックフェスタ	9/17	1	東灘区文化センター	200
親子で楽しむジャズコンサート	10/8	1	東灘区文化センター	350
うはら第九	12/2	1	東灘区文化センター	150
東灘区文化センター音楽会	12月	1	東灘区文化センター	150
定例講座発表会	3月	1	東灘区文化センター	250
第55回民謡春祭り	4/16	1	灘区文化センター	425
第28回灘区コーラスの集い	6/23	1	灘区文化センター	250
博物館連携イベント	5月以降	1	灘区文化センター	150
美術館連携イベント	7月・10月	2	灘区文化センター	150
子供も大人もアートな夏祭り	8/19	1	灘区文化センター	100
灘区民寄席	11/12	1	灘区文化センター	150
親子で楽しむ演奏会	1/21	1	灘区文化センター	300
マリーゴールドフェスティバル	2/25	1	灘区文化センター	200
開館1周年記念コンサート(仮称)	7月	1	中央区文化センター	230
KOSMAサマーコンサート	8月	1	中央区文化センター	200
NEW YEAR MUSIC DAYS	1月	1	中央区文化センター	200
ひょうごオータムフェスティバル	10/21	1	兵庫区文化センター	300
神戸ユースジャズオーケストラコンサート	1/27	1	兵庫区文化センター	150
kajiiの日用品楽器コンサート～食器はうたう～	3/30	1	兵庫区文化センター	250
すずらんホール農村歌舞伎	7/15	1	北区文化センター	150
クリスマスコンサート	12/24	1	北区文化センター	300
講座受講生合同発表会	2/18	1	北区文化センター	250
シャンソンフェスティバル	3/9	1	北区文化センター	200
獅子舞	3/10	1	北区文化センター	150
ありまホール映画サロン夏休みこども大会2023	8/5	1	北神区文化センター	150
北神オータムフェスタ2023	10/7	1	北神区文化センター	600
Special Jazz Live 2023	10/29	1	北神区文化センター	200
クリスマスコンサート2023	12/16	1	北神区文化センター	250

新春おたのしみ会	1/14	1	北神区文化センター	300
みんなでわいわいチャリティーコンサート	3/10	1	北神区文化センター	300
2023年度講座発表会	3/16・17	2	北神区文化センター	650
ピフレdeアートVol. 11 辰野翼ピアノリサイタル	6/11	1	長田区文化センター	138
ピフレdeアートVol. 12 こどもコンサート	8/19	1	長田区文化センター	300
ローゼズフェスティバル	9/2	1	長田区文化センター	250
長田わいわいステージショー	10/7	1	長田区文化センター	200
フレッシュコンサート	10月	1	長田区文化センター	200
ピフレクリスマスナイト	12月	3	長田区文化センター	300
ピフレdeアートVol. 12 馬場清孝・澤田真智子ジョイントリサイタル	1/28	1	長田区文化センター	250
ピフレdeアートVol. 13 僕の光、スタッフがみた世界Part2	2月	1	長田区文化センター	200
歴史講演会	3月	1	長田区文化センター	150
サルビアフェスティバル	3/2	1	長田区文化センター	300
須磨区音楽協会コンサート	4/16・7/16・2/4	3	須磨区文化センター	350
須磨区民寄席	5/28・9/17・1/14	3	須磨区文化センター	150
こども向けミュージカル	7/2	1	須磨区文化センター	200
須磨フィルハーモニーコンサート	9/10・12/10	2	須磨区文化センター	300
須磨の歴史	10/15	1	須磨区文化センター	100
須磨区女性音楽グループ発表会	9/28・10/8・11/16	3	須磨区文化センター	200
定例講座発表会	3/19	1	須磨区文化センター	550
しあわせいっぱいスプリングコンサート	5/7	1	北須磨文化センター	110
ジャズワインコンサートinきたすま	9/16	1	北須磨文化センター	200
きたすまハロウィンまつり ～ぬりえ・お絵描きコンテスト～	10/24～31	1	北須磨文化センター	350
Xmas Concert in KITASUMA	12/24	1	北須磨文化センター	300
区民の音楽の広場	5/21	1	垂水区文化センター	950
こどもコンサート	未定	1	垂水区文化センター	300
区民音楽祭	11/10	1	垂水区文化センター	350
ゼラニウムフェスティバル秋の祭典	11/11	1	垂水区文化センター	200
響けハーモニー	11/12	1	垂水区文化センター	800
講座発表会	3/16	1	垂水区文化センター	300
こども農村歌舞伎体験教室 神戸の農村歌舞伎と講演	4～9・9/9・9/10	2	西区文化センター	250
ダンスフェスティバル	12/10	1	西区文化センター	700
ゴスペルコンサート	12/24	1	西区文化センター	250
こども向けミュージカル	1/21	1	西区文化センター	500
定例講座合同発表会	3/2	1	西区文化センター	450
事業合計		78		19,593

② 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

ア 事業方針

- ・各区文化センターにおける質の高い演奏の提供

イ 事業内容

各区文化センターにおいて、従来の公演に加え、令和4年度から新たにスタートした神戸市室内管弦楽団による、安価な料金で休憩なし60分以内の企画を継続する。公演後にはトークなどの交流プログラムを実施するほか、定期演奏会で取り上げないような作品、出演者の組み合わせを積極的に試み、市民に新しい音楽体験を届ける。

令和5年度神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団事業一覧（文化センター関連）

（単位：人）

事業名		開催時期	公演数	開催場所	入場者数
室内	セレクション Vol13	8/5	1	東灘区文化センター うはらホール	400
	セレクションVol14 ※2回公演	2/23	2	長田区文化センター別館 ピフレホール	500
混声	わがまちコンサート ピフレ	11/19	1	長田区文化センター別館 ピフレホール	300
	あなたに贈るコンサート	6/18・10/29・1/28	3	北神区文化センター ありまホール 東灘区文化センター うはらホール 中央区文化センター	750
自主公演合計					1,950

③ 文化振興事業

ア 事業方針

- ・市民のくらしに芸術文化を根づかせる取り組み

イ 事業内容

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「シャンソン・ポピュラーコンクール（神戸大会）」等を企画していく。

令和5年度文化振興課事業一覧（文化センター関連）

（単位：人）

事業名	開催時期	開催場所	入場者数
全日本シャンソン・ポピュラーコンクール（神戸大会）	6/3	長田区文化センター別館 ピフレホール	170
全日本シャンソン・ポピュラーコンクール（セミファイナル）	8/5	長田区文化センター別館 ピフレホール	120
神戸フォーレ協会 ボンジュール・フランス（室内楽名曲シリーズ）	6/25	東灘区文化センター うはらホール	250
神戸三曲協会独奏会	3/17	東灘区文化センター うはらホール	200
文化振興事業合計			740

④ 情報発信

文化センターの情報発信機能の充実を図るため、チラシやホームページでの情報提供のほか、ポスティング、文化センターだよりの発行、友の会運営に取り組むとともに SNS を積極的に活用していく。令和3年度より市民の第九公式 LINE アカウントを開設し、公式マスコットキャラクター「べんちゃん」のスタンプを発売。

⑤ 文化センター貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・料金割引制度や利用団体への広報・相談サポートなどの向上と積極的な広報活動による利用促進
- ・長年培ったノウハウの活用による、安全・安心で快適な利用環境の提供
- ・市立の貸館施設として、公的機関及び団体に研修・会合・健診等の誘致活動を実施
- ・財団が運営する定例講座とは別に、利用率の低い貸室を市民の「教えたい」ニーズ対応として貸館利用で講師が、一定期間講座を開設することで、市民の「学びたい」ニーズにも応え、利用率改善にもつなげる

イ 事業内容

(ア) サービスと利便性の向上

例：休館日の祝日開館、インターネット予約受付、インターネット無料接続サービスの提供、利用料金の割引対象拡充、利用料金等のキャッシュレス決済の導入

(イ) 地域文化団体との連携強化による情報発信や運営サポート支援

例：地域文化団体の利用料金割引拡充、貸館利用団体専用掲示板設置など

(ウ) 積極的な貸館セールス

例：「文化センターだより」発行、「友の会」・ホームページの活用
入口付近設置の大型ディスプレイによる、空室状況の掲示

(エ) 省エネルギーや環境を意識した設備管理

例：節電、環境保護の取り組みの日常業務への組み入れ

収益事業

(1) 神戸文化ホール貸館・管理事業

神戸文化ホールにおいて、コンベンションなど文化活動以外を目的とする活動の場の提供を図る。また自動販売機設置や駐車場など神戸文化ホール利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要	大ホール	: 2043 席
	中ホール	: 904 席
	リハーサル室	: 150 名
	練習室 1~5	: 15 名~150 名
	多目的室・特別控室	
	自動販売機	: 7 台
	駐車場 (神戸文化ホール練習場)	: 10 台

(2) 新開地アートひろば貸館・管理事業

これまでの利用者に加えて、子育て世代をはじめ、幅広い人々が集う地域に開かれた施設を目指す。特に1階は、子ども向けスペース (てててパーク) や、飲食店舗「はっちゃんの台所」など、利用者が気軽に立ち寄り、集いやすいスペースとしての運営を図ることで、来館人数の向上を目指す。

※施設概要	多目的ホール	: 232 席
	ギャラリー	: 129 m ² 程度
	リハーサル室 1~2	: 120 m ² ~189 m ²
	会議室 1~2、スタジオ 1~3、1room 等	
	自動販売機	: 3 台

(3) 文化センター講座・地域連携事業

当財団が指定管理者として管理運営する文化センターにおいて、健康・スポーツなどの文化振興目的以外で利用者ニーズの高い講座や自主事業を開催する。

※例 講座：健康体操、スポーツ吹矢、バドミントン、卓球、水泳など
自主事業：コミュニティフェスティバル、卓球大会など

(4) 文化センター貸館・管理事業

指定管理者である文化センターにおいて、イベントなど文化活動以外を目的とする活動の場を提供する。また自動販売機設置や駐車場等文化センター利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要	大ホール、体育施設、プール	
	会議室、多目的室	
	和室・音楽室・美術室・陶芸室等	
	自動販売機	: 34 台
	駐車場 (北神区文化センター)	: 123 台

法人運営全体に関わる事業

(1) 専門性の強化・効率的な執行体制の構築

芸術文化事業についての研修等の充実を図り、職員の知識の向上及び専門性の強化など人材育成に努めるとともに、優秀な職員を固有職員として登用する。

平成30年度から、職員研修を充実させ、職員に基礎実務研修や専門家を招聘した特別講義等を定期的に行い、人材育成プログラムの充実を図っている。

令和3年度から、外部の専門人材を積極的に登用し新文化ホールを見据えた演奏事業、文化ホール事業の強化を行うほか、イベント運営のノウハウ修得も目指し「六甲ミーツ・アート芸術散歩」の事務局を担う六甲山観光株式会社への人的支援を引き続き実施する。

(2) 経営の安定化

「中期経営計画2026」で定める目標の実現に向け、事業を着実に実施していくためには、経営の安定が必須であることから、事業収入の確保のほか、公的及び民間団体からの助成金の獲得、税制優遇制度を活用した寄附など外部資金の獲得に向けて、これまで以上に力を入れて取り組む。

また、当財団事業について、改めて再構築の観点から徹底的な見直しを進めていくとともに、令和3年度よりセグメント会計を導入し、事業部毎の独立採算を目指している。

平成30年7月に地元経済界が立ち上げた芸術文化を支援する「神戸文化マザーポートクラブ」の事務局を当財団が担うことで、芸術文化界と地元経済界のつなぎ役を担うとともに、当財団としても経済界との関係を深め、当財団に対する企業協賛等支援の獲得を目指していく。

3 経営改善の取り組み

令和3年1月に策定された神戸市の「神戸市文化芸術推進ビジョン」や神戸市が提示したミッションを踏まえ、当財団においても、令和4年度から令和8年度を計画期間とする「中期経営計画2026」を策定した。

令和9年度頃の工事完了に向け整備が進められている新・神戸文化ホール大ホールの運営を担いよう実力を備えるため、本計画の着実な遂行とともに下記の経営改善を進めていく。

(1) 集客及び利用の促進

①公演等事業

神戸文化ホールが、令和5年で開館50周年という大きな節目の年を迎えることを踏まえ、令和5年度より「神戸文化ホール開館50周年記念事業 Creating in Kobe | 神戸で創る」を実施する。また、令和5年は神戸で日本初のプロバンドがジャズを演奏してから100周年を迎えることから、「神戸ジャズ100周年記念事業」を実施する。

こうした取り組みにより、良質で特色のある芸術文化プログラムを市民に提供するという劇場法の趣旨を達成していく。

また、公演等の広報に関して、マスコミとの関係強化による公演情報の記事化等、専門人材を活用した戦略的広報を実施していく。

②新開地アートひろば

神戸アートビレッジセンター(KAVC)は、子どもをはじめとするあらゆる世代の人々の交流できる場を目指し、新開地アートひろばとして令和5年度より、リニューアルオープンした。

1階スペースを中心に施設を『あそび場』として捉え、毎月多彩なジャンルのアーティストと協働し、体験から鑑賞まで様々な形で文化芸術を通じたあそびに触れることが出来る事業を実施することで、これまで以上に地域の人々をはじめ、気軽に立寄りやすい施設を目指していく。

③貸館利用

文化センターにおいて、利用団体への営業活動を強化するなど利用率の向上に取り組む。

また、神戸文化ホールにおいて、舞台技術などに関する専門的かつ的確なアドバイスにより、利用者が行う舞台表現のレベル向上に貢献する等、利用者の満足度向上を図り、リピーター確保に繋げていく。

④新たな観客等の獲得

「神戸文化ホールウェルカムジャンボリー」や「こどもコンサート」等を実施し、子育て世帯等、日頃ホールに足を運ぶ機会が少ない、新たな観客が文化芸術に触れる機会を生み出す。

(2) 経営基盤の強化

①人材の養成

外部専門人材等を活用し、実践的な講座を活用した研修や他館と連携した事業を実施することで、財団職員の企画・制作力の向上に取り組む。

②外部資金の積極的獲得

財政基盤を安定させるため、文化庁を始めとする外部助成金の必要性が更に増している。また、民間団体の有する助成制度や企業協賛金など、多様な資金調達手段の開拓が不可欠である。専門人材の知見やネットワークも最大限活用し、外部資金の積極的な獲得に取り組む。

<中期経営計画 2026 に基づく具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）>

【神戸からの創造・発信を行う】

KPI	令和5年度より企画・政策及び発信型事業年1演目以上実施
	他館連携型の事業の企画・実施 年1回以上
	文化センター、KAVC で行われる公演のうち、その発展性を見込んで文化ホールでの開催に移行するものの選定 年1回以上
	相談窓口利用者の発展的活動展開 利用者の70%以上

【地域社会の絆をつなぐ】

KPI	公演におけるバリアフリーへの工夫 自主事業毎に1つ以上
	社会包摂型の自主事業 年に1回以上
	多文化共生を目指す自主・共催事業等 年に1回以上
	C 情報フォロワー数1万人以上
	各文化センターにて地域文化活性化事業を実施 年3回以上
	講座参加者数20%増（対令和3年度比。講師主催講座含む。）

【くらしと芸術文化をつなぐ】

KPI	市民ネットモニターアンケート「過去1年間で芸術文化を鑑賞した人の割合（絵画・音楽・演劇・映画・ダンス等）80%以上
	敷居を下げた参加しやすい自主事業の企画、継続実施 年に5回以上
	異分野との連携による事業の企画・実施 年1回以上

【学ぶ、トライするを支える】

KPI	アートマネジメント人材養成事業への参加者 年100人以上
	新たな市民を呼び込む事業数 年30回以上
	講座参加者数20%増（再掲）
	市内小学生が実演芸術を経験する 小学校期間中に1回以上

【経営を安定化する】

KPI	助成金の新規申請及び獲得 毎年度新規1件以上増
	一般正味財産が必要とされる充当額を毎年度下回らない
	財政・経理に関する職員研修 毎年度1回以上
	常勤役員を除く、課長級以上の市出向職員の比率40%以下

4 令和5年度予算

(1) 事業別収支予算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日, 単位: 千円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
公益目的事業会計	1,963,879	公益目的事業会計	2,024,405
文化振興事業収入	27,374	文化振興事業支出	30,980
演奏事業関係収入	255,317	演奏事業関係支出	255,333
営業企画収入	4,600	営業企画支出	7,731
文化ホール公演事業収入	85,897	文化ホール公演事業支出	94,455
文化ホール貸館・管理事業収入	280,534	文化ホール貸館・管理事業支出	278,346
新開地アートひろば公演事業収入	17,984	新開地アートひろば公演事業支出	20,516
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	145,698	新開地アートひろば貸館・管理事業支出	150,051
文化センター講座等事業収入	329,452	文化センター講座等事業支出	318,748
文化センター貸館・管理事業収入	766,115	文化センター貸館・管理事業支出	790,666
あじさいホール運営収入	22,440	あじさいホール運営支出	22,440
50周年記念事業収入	28,468	50周年記念事業支出	55,139
収益事業等会計	771,711	収益事業等会計	740,832
文化ホール貸館・管理事業収入	47,959	文化ホール貸館・管理事業支出	47,579
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	13,790	新開地アートひろば貸館・管理事業支出	15,102
文化センター講座等事業収入	155,031	文化センター講座等事業支出	147,769
文化センター貸館・管理事業収入	554,931	文化センター貸館・管理支出	530,382
法人会計	64,189	法人会計	91,088
財団管理運営事業収入	64,189	財団管理運営事業支出	91,088
当期収入合計 (A)	2,799,779	当期支出合計 (B)	2,856,325
		当期収支差額 (A) - (B)	△ 56,546

* 神戸市からの収入
 (1) 補助金 333,007千円
 (2) 受託料 1,216,603千円

(2) 予定正味財産増減計算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日, 単位: 千円)

科目	金額	
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
基本財産受取利息	335	
文化事業収益	553,870	
文化施設等運営収益	0	
文化事業受託収益	4,650	
管理受託収益	1,216,603	
施設利用料金収益	592,420	
受取補助金等	431,764	
受取寄付金	80	
受取利息	1	
雑収入	56	
経常収益計		2,799,779
(2) 経常費用		
事業費	2,765,237	
管理費	91,088	
経常費用計		2,856,325
当期経常増減額		△ 55,924
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	0	
経常外収益計	0	0
(2) 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期一般正味財産増減額		△ 55,924
法人税、住民税及び事業税		622
当期一般正味財産増減額		△ 56,546
一般正味財産期首残高		75,938
一般正味財産期末残高		19,392
II 指定正味財産増減の部		
(1) 基本財産運用益		
基本財産受取利息		0
(2) 一般正味財産への振替額		
一般正味財産への振替額		0
当期指定正味財産増減額		0
指定正味財産期首残高		200,000
指定正味財産期末残高		200,000
当期正味財産増減額		0
正味財産期首残高		275,938
III 正味財産期末残高		219,392

(3) 予定貸借対照表

(令和6年3月31日現在, 単位: 千円)

科 目	金額	科 目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	3,654	未払金	259,561
預金	300,309	前受金	153,594
未収金	99,717	預り金	14,650
前払金	13,915	賞与引当金	36,149
預け金	26	流動負債合計	463,954
流動資産合計	417,621		
2. 固定資産		2. 固定負債	
(1) 基本財産		退職給付引当金	11,697
預金	518	固定負債合計	11,697
定期預金	6,910	負債合計	475,651
投資有価証券	209,482		
基本財産合計	216,910	III 正味財産の部	
(2) 特定資産		1. 指定正味財産	
退職給付引当資産	11,697	基本財産	200,000
特定資産合計	11,697	指定正味財産合計	200,000
(3) その他固定資産		(うち基本財産への充当額)	(200,000)
什器備品	4,472	2. 一般正味財産	19,392
保証金	32,646	(うち基本財産への充当額)	(16,910)
その他固定資産合計	37,118	(うち特定資産への充当額)	0
固定資産合計	265,725	正味財産合計	219,392
資産合計	695,043	負債及び正味財産合計	695,043

(4) 事業別予定収入明細書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日, 単位:千円)

科 目	収 入	内 訳							
		事業収入	事業受託収入	指定管理料等 収 入	補助金収入	助成金収入	利用料金収入	寄付金収入	その他収入
公益目的事業会計	1,963,879	398,839	4,650	812,825	269,210	98,755	379,520	80	0
文化振興事業収入	27,374	12,883	1,150	0	13,341		0	0	0
演奏事業関係収入	255,317	20,982	0	0	202,569	31,766	0	0	0
営業企画収入	4,600	0	0	0	4,600	0	0	0	0
文化ホール公演事業収入	85,897	17,202	3,500	0	14,660	50,455	0	80	0
文化ホール貸館・管理事業収入	280,534	0	0	109,648			170,886	0	0
新開地アートひろば公演事業収入	17,984	1,384	0		6,600	10,000		0	0
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	145,698	0	0	131,162	0	0	14,536	0	0
文化センター講座等事業収入	329,452	329,452	0	0	0	0	0	0	0
文化センター貸館・管理事業収入	766,115	0	0	572,015	0	2	194,098	0	0
あじさいホール運営収入	22,440	0	0	0	22,440	0	0	0	0
50周年記念事業収入	28,468	16,936	0	0	5,000	6,532	0	0	0
収益事業等会計	771,711	155,031	0	403,778	0	2	212,900	0	0
文化ホール貸館・管理事業収入	47,961	0	0	18,745	0	2	29,214	0	0
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	13,790	0	0	12,326	0	0	1,464	0	0
文化センター講座等事業収入	155,031	155,031	0	0	0	0	0	0	0
文化センター貸館・管理事業収入	554,929	0	0	372,707	0	0	182,222	0	0
法人会計	64,189	0	0	0	63,797	0	0	0	392
財団管理運営事業収入	64,189	0	0	0	63,797				392
合 計	2,799,779	553,870	4,650	1,216,603	333,007	98,757	592,420	80	392

(5) 事業別予定支出明細書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日, 単位: 千円)

科 目	合 計	内 訳	
		人 件 費	物 件 費
公益目的事業会計	2,024,405	467,331	1,557,074
文化振興事業支出(あじさいホール事業を含む)	53,420	18,904	34,516
演奏事業関係支出	255,333	50,268	205,065
営業企画課支出	7,731	7,187	544
文化ホール関係支出	372,801	74,282	298,519
新開地アートひろば関係支出	170,567	63,681	106,886
文化センター関係支出	1,109,414	253,009	856,405
50周年記念事業支出	55,139	0	55,139
収益事業等会計	740,832	181,248	559,584
文化ホール関係支出	47,579	6,790	40,789
新開地アートひろば関係支出	15,102	6,411	8,691
文化センター関係支出	678,151	168,047	510,104
法人会計	91,088	53,189	37,899
財団管理運営事業支出	91,088	53,189	37,899
合 計	2,856,325	701,768	2,154,557

VI 令和4年度主要事業計画・実績比較表

文化センター講座事業（講座受講者数）

施設名	受講者数（人）		
	計画	実績	増減
東灘区文化センター	2,500	3,244	744
灘区文化センター	4,800	5,457	657
葺合文化センター	—	—	—
生田文化会館	—	—	—
中央区文化センター	—	—	—
兵庫区文化センター	3,800	4,464	664
北区文化センター	3,000	3,493	493
北神区文化センター	3,700	4,604	904
長田区文化センター	4,500	5,715	1,215
須磨区文化センター	2,000	2,396	396
北須磨文化センター	3,700	4,830	1,130
垂水区文化センター	5,800	5,636	△ 164
西区文化センター	6,200	7,305	1,105
計	40,000	47,144	7,144

芸術文化事業

事業名	入場者数（人）		
	計画	実績	増減
文化振興事業	16,990	17,106	116
音楽事業	13,290	13,936	646
演劇・舞踊事業等	3,700	2,770	△ 930
その他	0	400	400
演奏事業	23,980	39,120	15,140
室内管弦楽団公演	4,300	6,569	2,269
混声合唱団公演	7,680	16,257	8,577
合同公演	12,000	16,294	4,294
神戸文化ホール事業	21,260	15,525	△ 5,735
芸術創造・発信事業	4,300	3,960	△ 340
教育普及・育成事業	2,860	2,014	△ 846
鑑賞・学習事業	14,100	9,551	△ 4,549
神戸アートビレッジセンター事業	4,680	7,505	2825
演劇・舞踊事業	2,638	3,171	533
美術事業	1,100	2,218	1,118
映像事業	—	—	—
音楽・地域事業	942	2,116	1,174

施設毎入場者

（人）

施設名	計画	実績	増減
神戸文化ホール（練習室含む）	300,000	296,132	△ 3,868
神戸アートビレッジセンター	110,000	78,933	△ 31,067
文化センター	2,582,000	2,042,397	△ 539,603

VII 主要事業の推移(令和2年度～令和4年度)

文化センター講座事業（講座受講者数）

施設名	受講者数（人）				
	2年度	3年度		4年度	
	実績	実績	対前年比	実績	対前年比
東灘区文化センター	1,464	3,109	212.4%	3,244	104.3%
灘区文化センター	2,340	5,543	236.9%	5,457	98.4%
葺合文化センター	13	—	—	—	—
生田文化会館	28	—	—	—	—
中央区文化センター	—	—	—	—	—
兵庫区文化センター	2,027	4,293	211.8%	4,464	104.0%
北区文化センター	1,776	3,606	203.0%	3,493	96.9%
北神区文化センター	1,806	4,282	237.1%	4,604	107.5%
長田区文化センター	2,667	5,665	212.4%	5,715	100.9%
須磨区文化センター	873	2,467	282.6%	2,396	97.1%
北須磨文化センター	1,225	4,667	381.0%	4,830	103.5%
垂水区文化センター	3,298	6,947	210.6%	5,636	81.1%
西区民センター	3,402	7,275	213.8%	7,305	100.4%
計	20,919	47,854	228.8%	47,144	98.5%

芸術文化事業

事業名	入場者数（人）				
	2年度	3年度		4年度	
	実績	実績	対前年比	実績	対前年比
文化振興事業	3,636	10,053	276.5%	17,106	170.2%
音楽事業	3,285	9,470	288.3%	13,936	147.2%
演劇・舞踊事業等	351	583	166.1%	2,770	475.1%
その他	—	—	—	400	—
演奏事業	6,097	5,856	96.0%	39,120	668.0%
室内管弦楽団公演	4,066	3,047	74.9%	6,569	215.6%
混声合唱団公演	1,098	1,773	161.5%	16,257	916.9%
合同公演	933	1,036	111.0%	16,294	1572.8%
神戸文化ホール事業	7,465	18,862	252.7%	15,525	82.3%
芸術創造・発信事業	6,628	13,189	199.0%	3,960	30.0%
教育普及・育成事業	180	1,338	743.3%	2,014	150.5%
鑑賞型事業	657	4,335	659.8%	9,551	220.3%
神戸アートビレッジセンター事業	22,804	23,134	101.4%	7,505	32.4%
演劇・舞踊事業等	4,943	2,455	49.7%	3,171	129.2%
美術事業	3,197	3,263	102.1%	2,218	68.0%
映像事業	3,100	3,998	129.0%	—	—
音楽・地域事業	11,564	13,418	116.0%	2,116	15.8%

施設毎入場者数

(人)

施設名	2年度	3年度		4年度	
	実績	実績	対前年比	実績	対前年比
神戸文化ホール(練習室含む)	77,994	178,600	229.0%	296,132	165.8%
神戸アートビレッジセンター	73,998	109,098	147.4%	78,933	72.4%
文化センター	1,067,735	1,547,379	144.9%	2,042,397	132.0%